

令和6年度 事務事業評価一覧表

令和6年10月 那須町

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-01-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般管理費		前年度	30,197,000	0	656,000	0	30,853,000	29,852,316	1,000,684	96.76
		当該年度	32,649,000	2,182,000	399,000	0	35,230,000	33,528,422	1,701,578	95.17
事業概要		役場全体の事務管理、広域行政事務組合等の負担金等								
評価・改善点等		役場全体に係る業務を一括で運営管理することにより、業務執行が円滑に行えている。また、会議等のペーパーレス化や、印刷機器の総量管理を行いコスト削減に努めているが、今後も物価高騰による事務費増が懸念される。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-01-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
人事管理費		前年度	174,322,000	▲ 1,500,000	0	0	172,822,000	168,024,075	4,797,925	97.22
		当該年度	178,087,000	▲ 2,000,000	651,000	0	176,738,000	164,385,468	12,352,532	93.01
事業概要		職員の採用・退職・派遣・研修、服務等の人事関係に関する管理事務								
評価・改善点等		職員研修の実施や、安全衛生法に基づく職員(会計年度任用職員を含む)の健康健診やストレスチェックについて、高い参加・受診率を維持することができた。しかし、メンタルに不調を抱える職員が年々増えてきており、安定した住民サービスの維持・公務能率向上のためにも、カウンセリング事業や研修を通して職員の心身の健康管理、不調の原因を未然に防止する対策等、労働衛生管理体制の充実と人員管理、人材育成体制を整備していく必要がある。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-01-06		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
表彰式費		前年度	972,000	▲ 445,000	0	0	527,000	409,287	117,713	77.66
		当該年度	943,000	0	111,000	0	1,054,000	1,046,764	7,236	99.31
事業概要		那須町自治功労者表彰式の運営								
評価・改善点等		那須町表彰条例等に基づき、教育・産業・社会事業及び公益事業等、本町のために特に功労のあった方を表彰するため自治功労表彰式を実施した。年度によって被表彰者の人数は異なるが、近年、表彰式への出席率の低下がみられるため、表彰式の実施方法等の見直しが必要となっている。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項事業	02-01-08-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
湯本支所費	前年度	898,000	0	2,000	0	900,000	837,858	62,142	93.10
	当該年度	1,121,000	209,000	0	0	1,330,000	1,230,459	99,541	92.52
事業概要	湯本地区における各種証明書発行及び申請書受付並びに公金収納等、行政全般に関する窓口対応								
評価・改善点等	身近な窓口として行政サービスを提供できているが、各種証明書の発行業務については、年々取扱件数が減少している。支所のあり方を検討するとともに、マイナンバーカードの普及等を促進し、コンビニエンスストアでの取得により閉庁時等の利便性向上を図る必要がある。								翌年度の 方向性
									縮小

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項事業	02-01-08-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
芦野支所費	前年度	1,922,000	202,000	51,000	0	2,175,000	2,063,383	111,617	94.87
	当該年度	2,127,000	0	41,000	0	2,168,000	2,080,892	87,108	95.98
事業概要	芦野地区における各種証明書発行及び申請書受付並びに公金収納等、行政全般に関する窓口対応、施設管理運営								
評価・改善点等	身近な窓口として行政サービスを提供できているが、各種証明書の発行業務については、年々取扱件数が減少している。支所のあり方を検討するとともに、マイナンバーカードの普及等を促進し、コンビニエンスストアでの取得により閉庁時等の利便性向上を図る必要がある。また、現有施設の老朽化や物価高騰による維持管理費の増加が懸念される。								翌年度の 方向性
									縮小

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項事業	02-01-08-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
伊王野支所費	前年度	2,874,000	0	66,000	0	2,940,000	2,851,021	88,979	96.97
	当該年度	2,969,000	7,969,000	535,000	0	11,473,000	10,690,250	782,750	93.18
事業概要	伊王野地区における各種証明書発行及び申請書受付並びに公金収納等、行政全般に関する窓口対応、施設管理運営								
評価・改善点等	身近な窓口として行政サービスを提供できているが、各種証明書の発行業務については、年々取扱件数が減少している。支所のあり方を検討するとともに、マイナンバーカードの普及等を促進し、コンビニエンスストアでの取得により閉庁時等の利便性向上を図る必要がある。また、現有施設の老朽化や物価高騰による維持管理費の増加が懸念される。								翌年度の 方向性
									縮小

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-09-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
行幸啓費		前年度	845,000	▲ 684,000	0	0	161,000	14,986	146,014	9.31
		当該年度	829,000	108,000	0	0	937,000	895,283	41,717	95.55
事業概要		天皇皇后両陛下や上皇皇后両陛下が那須御用邸にて休養されている期間における消防団による警備								
評価・改善点等		天皇皇后両陛下や上皇皇后両陛下の休養期間に消防団による警備を19日間実施した。詰所の老朽化が課題となっている。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-10-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
交通安全施設費		前年度	1,669,000	0	0	0	1,669,000	1,665,760	3,240	99.81
		当該年度	1,751,000	0	0	0	1,751,000	1,745,874	5,126	99.71
事業概要		道路反射鏡等新設、修繕管理								
評価・改善点等		交通事故を未然に防止するため、道路反射鏡の新設や修繕を行った。経年劣化した道路反射鏡が多いことから、修繕料の増加が懸念される。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-10-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
交通安全啓発費		前年度	7,116,000	▲ 480,000	0	0	6,636,000	6,235,438	400,562	93.96
		当該年度	6,657,000	0	0	0	6,657,000	6,577,571	79,429	98.81
事業概要		高齢者運転免許証自主返納者への公共交通機関利用支援、交通安全啓発看板の設置修繕、交通指導員配置								
評価・改善点等		警察や交通安全協会を中心に、交通指導員等の関係団体と協力し、住民に交通安全思想の普及・啓発を行った。また、高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境づくりを推進するため、運転免許証自主返納者助成事業を実施した。交通安全協会支部等役員のなり手不足が課題となっている。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-14-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
自治会活動推進費		前年度	24,261,000	0	0	0	24,261,000	23,360,000	901,000	96.29
		当該年度	24,156,000	▲ 500,000	0	0	23,656,000	23,382,100	273,900	98.84
事業概要		各自治会が行う活動、防犯灯設置、文書配布に係る助成								
評価・改善点等		各自治会の活動費等を助成することで、地域の安心安全の維持が図られている。また、防犯灯設置の助成については、新設及び既存防犯灯のLED化がある程度進んできたことや、各自治会からの要望もあることから、防犯灯の助成制度の見直しを図り、助成を継続する必要がある。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-15-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
諸費		前年度	1,541,000	0	0	0	1,541,000	1,541,000	0	100.00
		当該年度	1,520,000	0	0	0	1,520,000	1,514,359	5,641	99.63
事業概要		那須地域等で構成されてる協議会や協会への運営費等の負担(山岳遭難防止対策協議会、防犯協会、内外情勢調査会等)								
評価・改善点等		関係機関・団体への支援や連携、また、協議会・研修等に参加することにより、各種課題に対する対応に取り組んだ。今後も各団体の事業内容や運営状況等を確認し、公費負担の適正化に努める。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-16-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
価格高騰重点支援給付金 事業費		前年度	-	-	-	-	-	-	-	-
		当該年度	0	96,500,000	0	0	96,500,000	90,987,380	5,512,620	94.28
事業概要		電力・ガス・食料品等の価格高騰による住民税非課税世帯等への支援給付金(1世帯3万円)の支給								
評価・改善点等		価格高騰の影響により、家計への影響が大きい低所得者(住民税非課税)世帯に対し1世帯あたり3万円を支給した。また、給付金事務については、対象者が多く給付期間も短かったことから、給付事務をスムーズに行うため各課横断型執行体制で実施した。								
		翌年度の 方向性								
		廃止								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-16-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
価格高騰重点支援給付金 事業費(追加分)		前年度	-	-	-	-	-	-	-	-
		当該年度	0	235,700,000	0	0	235,700,000	209,788,671	25,911,329	89.00
事業概要		電力・ガス・食料品等の価格高騰による住民税非課税世帯等への支援給付金(1世帯7万円)の支給								
評価・改善点等		価格高騰の影響により、家計への影響が大きい低所得者(住民税非課税)世帯に対し1世帯あたり7万円の追加給付を行った。また、給付金事務については、対象者が多く給付期間も短かったことから、給付事務をスムーズに行うため各課横断型執行体制で実施した。								翌年度の 方向性
										廃止

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	02-01-16-05		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
価格高騰重点支援給付金 事業費(均等割)		前年度	-	-	-	-	-	-	-	-	
		当該年度	0	1,220,000	0	0	1,220,000	1,081,666	138,334	88.66	
事業概要		電力・ガス・食料品等の価格高騰による住民税均等割のみ課税世帯への支援給付金(1世帯10万円)の支給									
評価・改善点等		価格高騰の影響により、家計への影響が大きい低所得者(住民税均等割のみ課税)世帯に対し1世帯あたり10万円を支給した。また、給付金事務については、対象者が多く給付期間も短かったことから、給付事務をスムーズに行うため各課横断型執行体制で実施した。									翌年度の 方向性
											廃止

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	09-01-01-01		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
常備消防費		前年度	553,717,000	▲ 17,542,000	0	0	536,175,000	536,175,000	0	100.00	
		当該年度	577,630,000	▲ 8,046,000	0	0	569,584,000	569,584,000	0	100.00	
事業概要		那須地区消防組合運営費の負担									
評価・改善点等		広域的な組織が構成されていることで効率的な消防運営が図られ、那須地区防災力の強化に寄与している。施設や設備の老朽化や機器の高度化による更新等に今後も多額の費用を要するため、組合と3市町が連携して計画的な整備を進めていく必要がある。									翌年度の 方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	09-01-02-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
非常備消防費		前年度	69,726,000	▲ 2,860,000	200,000	0	67,066,000	59,220,938	7,845,062	88.30
		当該年度	71,330,000	0	0	0	71,330,000	64,036,702	7,293,298	89.78
事業概要		消防団員活動支援、消防団車両等維持管理								
評価・改善点等		消防団活動に必要となる訓練の実施、車両管理や詰所の維持管理が行われたことにより地域防災力の維持が図られている。消防団員の減少・高齢化が進み、活動の継続が課題となっている。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	09-01-03-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
消防施設管理費		前年度	350,000	0	909,000	523,000	1,782,000	1,778,520	3,480	99.80
		当該年度	6,212,000	0	0	0	6,212,000	5,719,340	492,660	92.07
事業概要		消防団詰所、防火水槽等維持管理								
評価・改善点等		消防施設や設備を維持管理することで地域防災力の維持が図られている。消防水利については、老朽化に伴う計画的な更新や水利不足地域の新設が必要となっている。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	09-01-03-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
消防施設整備費		前年度	56,475,000	▲ 18,431,000	▲ 909,000	32,945,000	70,080,000	66,044,000	4,036,000	94.24
		当該年度	80,408,000	▲ 7,590,000	0	0	72,818,000	49,044,800	2,453,200	67.35
事業概要		消防団詰所新築、消防団車両更新								
評価・改善点等		老朽化した消防詰所及び車両を更新することで地域防災力の維持と向上を図ることができた。今後も財源を確保しつつ、計画的な更新が必要となっている。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	総務課	款項目事業	09-01-04-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
防災対策費		前年度	33,752,000	5,185,000	0	0	38,937,000	37,346,777	1,590,223	95.92
		当該年度	28,533,000	598,000	0	548,000	29,679,000	28,348,053	1,330,947	95.52
事業概要		情報伝達手段の管理運営、防災体制の整備、防災啓発活動								
評価・改善点等		速やかに住民に情報伝達を行うために必要な体制の維持、防災に必要な資機材等の計画的な備蓄により、町内の防災対策が図られている。公助と共に自助・共助力向上のため、防災士の増加や自主防災組織の組織化を促進していく必要がある。								翌年度の方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	選挙管理委員会事務局	款項目事業	02-05-01-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
選挙管理委員会費		前年度	1,376,000	0	0	0	1,376,000	1,235,947	140,053	89.82
		当該年度	1,633,000	0	0	0	1,633,000	1,555,401	77,599	95.25
事業概要		選挙管理委員会の運営								
評価・改善点等		選挙管理委員会を適正に運営することができた。また、町内の人口動態に対応した投票区の見直しを行った。利便性がよく、より投票環境が良好な施設へ期日前投票所の見直しを行った。								翌年度の方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	選挙管理委員会事務局	款項目事業	02-05-02-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
栃木県議会議員選挙費		前年度	4,307,000	1,856,000	0	0	6,163,000	4,914,630	1,248,370	79.74
		当該年度	8,609,000	▲ 1,606,000	0	510,000	7,513,000	7,434,536	78,464	98.96
事業概要		栃木県議会議員を公選するための選挙の実施（R5.4.9執行、任期4年、次回選挙は令和9年4月予定）								
評価・改善点等		適正かつ円滑に選挙事務を執行することができた。 年々投票率が低下していることから、投票率向上の施策を推進する。								
		翌年度の 方向性 廃止								

職 員

令和5年度 職員費等決算額一覧表

【一般会計】

(単位：千円、決算額は円単位ですが百円以下は四捨五入により省略しています。)

款	項	目	人数	決算額	内 訳			前年度決算額		比較増減	
					課名・施設名	人数	決算額	人数	決算額	人数	決算額
1	1	1	3	24,487	議会事務局	3	24,487	3	24,190	0	297
2	1	1	48	353,395		48	353,395	45	327,196	3	26,199
		特別職給 職員費	2 46	26,547 326,848	(町長、副町長) 総務課(支所含む)	2 24	26,547 326,848	2 43	28,087 299,109		
					財政課	6					
					企画政策課	11					
					会計課	4					
					監査委員事務局	1					
2	2	1	24	128,720	税務課	24	128,720	24	130,050	0	△ 1,330
2	3	1	11	62,966		11	62,966	8	50,417	3	12,549
					住民生活課	10					
					総務課(支所)	1					
2	5	1	1	7,809	選挙管理委員会事務局	1	7,809	1	8,563	0	△ 754
3	1	1	24	162,833		24	162,833	26	162,396	△ 2	437
					保健福祉課	7					
					こども未来課	17					
3	2	2	48	286,842	保育園	48	286,842	51	295,388	△ 3	△ 8,546
4	1	1	17	96,508		17	96,508	17	112,060	0	△ 15,552
					保健センター	8					
					環境課	8					
					上下水道課	1					
6	1	2	17	105,077		17	105,077	17	99,965	0	5,112
					農林振興課	14					
					農業員会事務局	3					
7	1	1	9	56,972	観光商工課	9	56,972	8	53,717	1	3,255
8	1	1	21	132,665		21	132,665	19	119,154	2	13,511
					建設課	13					
					ふるさと定住課	8					
10	1	2	10	76,521	(教育総務)事務局費	10	76,521	10	79,311	0	△ 2,790
		特別職給 職員費	1 9	11,742 64,779	(教育長) 学校教育課	1 9	11,742 64,779	1 9	12,275 67,036		
10	2	1	3	12,998	小学校(用務員)	3	12,998	3	12,784	0	214
10	3	1	1	5,794	中学校(用務員)	1	5,794	1	5,639	0	155
10	4	1	18	115,154	社会教育総務費	18	115,154	23	152,943	△ 5	△ 37,789
合 計			255	1,628,741	-	255	1,628,741	256	1,633,773	△ 1	△ 5,032

【特別会計及び企業会計】

款 項				目	人数	決算額	内 訳			前年度決算額		比較増減	
							課名・施設名		人数	決算額	人数	決算額	人数
				〔国民健康保険特別会計〕	8	47,120		8	47,120	8	44,552	0	2,568
1	1	1	一般管理費	7	38,942	税務課	2	38,942	7	38,017	0	925	
						住民生活課	5						
4	1	1	特定健康診査等事業費	1	8,178	保健福祉課	1	8,178	1	6,535	0	1,643	
				〔介護保険特別会計〕									
1	1	1	一般管理費	7	35,184	保健福祉課	7	35,184	7	35,852	0	△ 668	
				〔下水道事業特別会計〕									
1	1	1	一般管理費	4	26,261	上下水道課	4	26,261	4	23,874	0	2,387	
				〔水道事業会計〕	11	75,477	上下水道課	11	75,477	10	64,715	1	10,762
1	1	1	原水及び浄水費										
1	1	2	配水及び給水費										
1	1	4	総務費										
				合 計	30	184,042	-	30	184,042	29	168,993	1	15,049

【一般会計＋ 特別会計＋企業会計】	人数	決算額	内 訳			前年度決算額		比較増減	
			課名・施設名	人数	決算額	人数	決算額	人数	決算額
総 合 計	285	1,812,783	-	285	1,812,783	285	1,802,766	0	10,017

評価・ 改善点等	多様化する市民のニーズや各分野の行政課題に対応し、市政の円滑な運営を維持するため必要な人員を確保した。男性の育児休暇の取得推進、心身の不調等による長期休職者の代替職員の整備、技師や保健師等の専門的知識を有する職員の人員確保が課題となってきた。安全な職場環境や安定した住民サービスを維持するうえでも、ニーズに応じた業務改善、適正な人員体制の整備に努めていく必要がある。	翌年度の方向性
		維持

会計年度任用職員

令和5年度 職員費等決算額一覧表

【一般会計】

(単位：千円、決算額は円単位ですが百円以下は四捨五入により省略しています。)

款	項	目	人数	決算額	内 訳			前年度決算額		比較増減	
					課名・施設名	人数	決算額	人数	決算額	人数	決算額
1	1	1 議会費	0		議会事務局			0		0	0
2	1	1 職員費	10	18,621		10	18,621	8	15,656	2	2,965
					障がい者雇用 (総務2・住民2・税務1 財政1・ふる定1、生涯1)	8					
					総務課	1					
					企画政策課	1					
2	2	1 税務総務費	7	16,477	税務課	7	16,477	7	12,918	0	3,559
2	3	1 戸籍住民基本台帳費	6	11,205	住民生活課	6	11,205	5	7,960	1	3,245
2	5	1 選挙管理委員会費	0	0	選挙管理委員会事務局	0	0	1	1,868	△ 1	△ 1,868
3	1	1 社会福祉総務費	14	29,877		14	29,877	14	28,165	0	1,712
					保健福祉課	1					
					こども未来課	13					
3	2	2 保育園費	38	116,213	保育園	38	116,213	39	113,938	△ 1	2,275
4	1	1 保健衛生総務費	8	13,043		8	13,043	6	13,058	2	△ 15
					保健センター	4					
					上下水道課	2					
					環境課	2					
6	1	2 農業総務費	2	1,797		2	1,797	2	2,201	0	△ 404
					農林振興課	2					
					農業委員会事務局	0					
7	1	1 商工総務費	4	5,456	観光商工課	4	5,456	4	5,152	0	304
8	1	1 土木総務費	12	24,146		12	24,146	9	17,054	3	7,092
					建設課	4					
					ふるさと定住課	8					
10	1	2 (教育総務)事務局費									
		職員費	6	21,195	学校教育課	6	21,195	5	18,876	1	2,319
10	2	1 (小学校)学校管理費	34	76,313	小学校	34	76,313	29	76,448	5	△ 135
10	3	1 (中学校)学校管理費	12	29,840	中学校	12	29,840	13	31,143	△ 1	△ 1,303
10	4	1 社会教育総務費	10	27,299	生涯学習課	10	27,299	10	28,987	0	△ 1,688
合 計			163	391,482	-	163	391,482	152	373,424	11	18,058

【特別会計及び企業会計】

款 項				目	人数	決算額	内 訳			人数	決算額	比較増減	
							課名・施設名	人数	決算額			人数	決算額
〔国民健康保険特別会計〕													
1	1	1	一般管理費	3	4,626			3	4,626	2	5,059	1	△ 433
						税務課		0					
						住民生活課		3					
〔後期高齢者医療特別会計〕													0
1	1	1	一般管理費	1	2,850	保健福祉課		1	2,850	1	1,797	0	1,053
〔介護保険特別会計〕													
1	1	1	一般管理費	5	13,647	保健福祉課		5	13,647	5	14,643	0	△ 996
3	3	1	権利擁護事業費	1	2,545	保健福祉課		1	2,545	0	0	1	2,545
3	3	6	認知症総合支援事業費	1	168	保健福祉課		1	168	1	2,692	0	△ 2,524
合 計				11	21,291	-		11	21,291	9	24,191	2	△ 2,900

【一般会計＋ 特別会計＋企業会計】	人数	決算額	内 訳			前年度決算額		比較増減	
			課名・施設名	人数	決算額	人数	決算額	人数	決算額
総 合 計	174	412,773	-	174	412,773	161	397,615	13	15,158

評価・ 改善点等	専門知識を必要とする業務や補助的業務の対応のため、必要な会計年度任用職員を配置することができた。安定した住民サービスを継続するため、今後も現状を維持したいと考えているが、必要性については所管課と十分協議(精査)したうえで任用していく。	翌年度の方向性
		維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	企画政策課	款項目事業	02-01-02-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
広報広聴費		前年度	6,067,000	0	0	0	6,067,000	5,346,296	720,704	88.12
		当該年度	8,555,000	▲ 1,537,000	0	0	7,018,000	6,575,576	442,424	93.70
事業概要		広報紙の発行、町ホームページの管理運営								
評価・改善点等		広報紙「広報那須」の発行及びホームページの随時更新により町政等に関する情報発信を行った。また、令和6年1月から町LINE公式アカウントの運用を開始し、各種証明書の申請やイベント情報の発信などを行った。今後は、広報モニターと連携し広報内容の充実を図るとともに、LINEで利用できる手続き等を順次拡大し、情報発信についても強化する必要がある。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	企画政策課	款項目事業	02-01-07-01		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
企画費	前年度	6,200,000	0	0	0	6,200,000	5,162,733	1,037,267	83.27	
	当該年度	14,034,000	▲ 6,760,000	0	0	7,274,000	6,547,840	726,160	90.02	
事業概要		総合計画等策定管理(振興計画、総合戦略、山村振興、辺地、土地利用、国土利用、国土強靱化、特区)、地方創生・地域振興、企業誘致、渋滞対策、公有財産利活用検討、土地利用等検討、友好都市、国土法関係、国際交流、那須高等学校魅力向上事業による支援など								
評価・改善点等		企業誘致として、企業誘致の候補地となる情報収集のため那須町事業用地等情報提供制度を開始、また、企業立地奨励金の交付要件を見直し、立地条件に合わせて奨励金を受けられるよう変更した。 奥那須地区渋滞対策は、関係機関と連携することで大丸温泉駐車場から峠の茶屋駐車場までの路上駐車も解消され、来訪者の円滑な周遊に対し一定の効果が認められる。現在は、マンパワーで事業を実施しているが今後は、デジタルを活用した対策を図ることで業務負担の軽減を図る必要がある。 那須高等学校魅力向上事業では、町内唯一の高校である那須高等学校の魅力を町広報紙や「那須まち人物図鑑」を作成し、町内や近隣市町への情報発信を行うことで高校の認知度向上に貢献できた。更なる、魅力向上に繋がる取組について高校、コーディネーター、町が連携し検討を行う必要がある。 各種計画の策定・管理には、人的及び予算的資源を要するため、計画の在り方・作り方を検討する必要がある。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	企画政策課	款項目事業	02-01-11-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
ふるさと納税推進費		前年度	49,012,000	872,912,000	82,000	0	922,006,000	903,631,835	18,374,165	98.01
		当該年度	457,393,000	1,027,015,000	0	0	1,484,408,000	1,216,467,851	267,940,149	81.95
事業概要		ふるさと納税寄附者に対する返礼、ポータルサイトの管理運営、ふるさと那須町応援基金への積立、「ふるさと納税型クラウドファンディング」を活用した起業家支援(R5は応募なし)								
評価・改善点等		令和5年度のふるさと納税寄附額は、約8億5千万円となり過去最高額となった。自動販売機を本格導入したほか、2つのポータルサイトを追加した。さらなる寄附額増のためには、ポータルサイトや返礼品の拡充だけでなく、返礼品を含めた町のプロモーション活動が必要であり、それに係る人的、予算的な措置が必要である。								翌年度の 方向性
										拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	企画政策課	款項目事業	02-01-14-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
協働のまちづくり推進費		前年度	8,097,000	0	0	0	8,097,000	7,534,692	562,308	93.06
		当該年度	8,816,000	▲ 450,000	0	0	8,366,000	8,079,523	286,477	96.58
事業概要		地域づくり委員会、町内活動団体等への支援、まちづくり協議会の運営、「黒田原まちなか広場」管理・運営								
評価・改善点等		地域づくり運営交付金は、18地区社協単位を設置する地域づくり委員会うち9委員会が、委員会の活用が円滑な運営となるよう支援した。 地域づくり事業交付金は、地域課題解決に向けた委員会や町民活動団体の事業に要する費用の一部を助成し活動を支援した。助成期間の3年間終了後も団体が継続的に事業を実施してもらうことが目的の事業であるが、支援期間終了後は事業廃止となっているケースも見受けられるため、本事業の必要性について検討が必要であると考え。事業交付金(CF)についても、申請がないため事業の必要性について併せて検討が必要である。 また、まちなか広場の利用に関し、申請件数が伸び悩んでいるため周知の方法を検討する必要がある。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	企画政策課	款項目事業	02-04-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
電算管理費		前年度	86,490,000	▲ 5,911,000	0	0	80,579,000	80,175,035	403,965	99.50
		当該年度	93,006,000	▲ 1,000,000	0	0	92,006,000	91,015,579	990,421	98.92
事業概要		情報システム及び機器導入・管理運営、情報セキュリティ対策、DX推進								
評価・改善点等		総合行政システム等の運用は、セキュリティ事故なく安定稼働している。また、設備投資に関しても機器更新計画を策定し、適正なコスト管理を実施した。 当面の課題は、システム標準化移行であり、令和7年度末までの移行が必要で、連携用のサーバー等機器の入れ替えに伴う費用増加が見込まれる。 今後はデジタル・トランスフォーメーション(DX)推進に向け、令和5年度に策定したDX推進計画に基づき、新たな技術の導入、セキュリティ強化やデジタル人材の育成を進め、町民の利便性向上と業務効率化を進める。								
		拡充								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	企画政策課	款項目事業	02-04-01-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
地域情報化推進費		前年度	23,332,000	▲ 800,000	0	0	22,532,000	19,595,634	2,936,366	86.97
		当該年度	23,195,000	0	0	0	23,195,000	22,272,114	922,886	96.02
事業概要		光ファイバー網管理運営、地上デジタル放送共聴施設組合支援								
評価・改善点等		町民の生活基盤を支える社会的インフラサービスであるため、災害等による光ファイバケーブルの破損事故等にも迅速に対応し、安定的な管理・運用を実施。								
		光ファイバー網整備後10年以上が経過し、施設老朽化が進んでいる。今後は、民間事業者への譲渡の方針を決定したので、令和7年度末の譲渡に向け事務を進める。								
		地上デジタル放送共聴施設組合支援は、持続可能な暮らしを維持するため、補助事業を継続しつつ、設備老朽化対策の検討が必要である。								
		翌年度の方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	企画政策課	款項目事業	02-06-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
各種統計調査費		前年度	651,000	0	0	0	651,000	510,210	140,790	78.37
		当該年度	1,193,000	0	0	0	1,193,000	919,124	273,876	77.04
事業概要		行政の基礎資料等となる各種統計調査（学校基本調査、住宅・土地統計調査等）								
評価・改善点等		住宅・土地統計調査を実施。調査員を担う年齢が高齢化しており調査員の確保が難しい状況である。調査を担うにあたり、調査に関する理解度を促進させるための支援及び調査員の確保について検討が必要である。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	02-01-01-05		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
庁舎管理費		前年度	26,307,000	14,869,000	198,000	0	41,374,000	37,417,554	3,956,446	90.44
		当該年度	40,128,000	874,000	1,354,000	0	42,356,000	38,832,923	3,523,077	91.68
事業概要		役場本庁舎の維持管理(光熱水費の管理、各設備保守点検、修繕等)								
評価・改善点等		本庁舎の利便性向上を図るため、2階休憩室の改修及び1階税務課のカウンター工事を実施した。また、施設の維持管理のため空調設備の修繕を実施した。今後は、引き続き経年による施設・設備の改修を行うとともに、光熱水費の削減を図るため、照明のLED化を行っていく。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	02-01-01-07		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
車両管理費		前年度	12,328,000	1,502,000	10,000	0	13,840,000	12,601,006	1,238,994	91.05
		当該年度	15,173,000	0	0	0	15,173,000	14,688,421	484,579	96.81
事業概要		公用車の維持管理								
評価・改善点等		公用車の利用については、集中管理方式により効率的な運用ができています。また、共用車は2台更新したが、車両の不具合発生が多くみられることから、計画的な更新を行うとともに、環境配慮型車両の導入が必要となっている。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	02-01-03-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
財政管理費		前年度	5,931,000	0	▲ 30,000	0	5,901,000	5,851,487	49,513	99.16
		当該年度	5,838,000	0	0	0	5,838,000	5,708,085	129,915	97.77
事業概要		予算編成・予算執行管理、予算書・財務書類等の作成								
評価・改善点等		公会計システム等により効率的に予算執行を管理することができた。また、前年度決算に基づく財務書類作成は適正に実施しているが、健全財政のための活用に対する検討を要する。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	02-01-05-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
財産管理費	前年度	20,916,000	6,159,000	200,000	53,684,000	80,959,000	58,058,880	22,900,120	71.71
	当該年度	50,955,000	2,478,000	190,000	0	53,623,000	52,296,546	1,326,454	97.53
事業概要	公衆トイレ、広場等の公共施設の維持管理								
評価・改善点等	地域の活動拠点として旧高久保育園の改修工事を実施した。また、湯本支所前の道路が劣化していることから舗装修繕工事を実施した。今後も、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の再編や未利用施設の利活用等を促進し、管理コストの縮減を図っていく。								翌年度の 方向性 縮小

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	02-01-05-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
町有林管理費	前年度	96,908,000	0	▲ 200,000	0	96,708,000	95,426,830	1,281,170	98.68
	当該年度	93,035,000	0	0	0	93,035,000	7,730,008	85,304,992	8.31
事業概要	町有林の維持管理								
評価・改善点等	国内の木材需要の状況を鑑み、令和3年度に伐採面積の見直しを図り大幅に拡大した。それにより伐採収益も大幅な増となったが、現在は市場も落ち着きを見せていることから、町有林全体における適正なサイクルを考慮し、安定的な収入を確保するため計画的に伐採及び植付を行っていく。								翌年度の 方向性 維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	02-01-06-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
財政調整基金費	前年度	38,250,000	534,000,000	0	0	572,250,000	572,249,870	130	100.00
	当該年度	37,110,000	623,878,000	0	0	660,988,000	660,987,200	800	100.00
事業概要	財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金の積立、土地開発基金への繰出								
評価・改善点等	前年度繰越金の1/2以上の積立や定住促進住宅改修費及び橋りょう解体費等の積み立てを実施。今後も災害対応や大型の財政需要に対応するための基金を確保していく。								翌年度の 方向性 維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	02-01-13-01		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率	
契約及び検査事務費		前年度	813,000	0	0	0	813,000	772,772	40,228	95.05	
		当該年度	1,006,000	0	17,000	0	1,023,000	831,298	191,702	81.26	
事業概要		入札の執行と完成後の工事・業務の検査、入札参加申請企業の管理等									
評価・改善点等		入札に係るシステムの導入により、事務処理を円滑に行うことができている。今後、入札制度の原則に則り、一般競争入札を主として実施していくとともに、電子入札や入札参加申請の電子化を行う等、デジタル化に向けて検討を行っていく。									翌年度の 方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	12-01-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
元金償還金		前年度	1,102,113,000	0	482,000	0	1,102,595,000	1,102,593,968	1,032	100.00
		当該年度	1,138,162,000	0	218,000	0	1,138,380,000	1,138,377,984	2,016	100.00
事業概要		町債元金の償還								
評価・改善点等		町債の残高及び後年度償還に留意し、事業の必要性、投資効果等を考慮しながら、後年度に交付税措置され、町に負担の少ない起債活用に努める。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	12-01-02-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
利子償還金		前年度	74,337,000	0	▲ 482,000	0	73,855,000	36,517,677	37,337,323	49.45
		当該年度	52,188,000	0	▲ 218,000	0	51,970,000	32,445,555	19,524,445	62.43
事業概要		町債利子及び一時借入金利子の償還								
評価・改善点等		近年の低金利により減少している。より金利の低い償還期間の選択や変動金利の導入も検討する。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	13-01-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
土地取得費	前年度	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	0.00
	当該年度	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	0.00
事業概要	普通財産の取得費								
評価・改善点等	※支出がないため未評価								翌年度の 方向性

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	財政課	款項目事業	14-01-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
予備費	前年度	30,000,000	20,000,000	▲ 36,041,000	0	13,959,000	0	13,959,000	0.00
	当該年度	30,000,000	20,000,000	▲ 25,168,000	0	24,832,000	0	24,832,000	0.00
事業概要	突発的な災害や施設・設備の故障など、予見し難い事態による予算の不足に充てるための経費								
評価・改善点等	公共施設等の老朽化による緊急修繕費用や物価高騰への対応など、予備費の需要は高まっている。財政規範を逸脱しないよう留意しながら適正に活用していく。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	税務課	款項目事業	02-02-02-01		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
町民税費		前年度	23,726,000	5,000,000	0	0	28,726,000	25,469,825	3,256,175	88.66	
		当該年度	23,296,000	0	0	0	23,296,000	20,343,310	2,952,690	87.33	
事業概要		住民税(特別徴収、普通徴収、法人町民税)の賦課、所得税及び住民税の確定申告の相談受付									
評価・改善点等		所得税及び住民税の確定申告について、会場での申告書受理件数は2,711件であった。前年比97.2%と微減で年々減少傾向にある。課税については、個人法人ともに申告書や給与支払報告書等の課税資料、扶養調査等の各種調査結果に基づき適正に行った。 申告、届出、通知、納税等、多くの場面において電子化の体制整備が行われつつある。今後も電子手続きを更に周知していくことで、行政コストの削減と住民サービスの向上を目指す。									翌年度の方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	税務課	款項目事業	02-02-02-02		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
固定資産税費		前年度	50,660,000	0	0	0	50,660,000	47,535,170	3,124,830	93.83	
		当該年度	40,731,000	0	0	0	40,731,000	39,098,654	1,632,346	95.99	
事業概要		固定資産の評価及び賦課									
評価・改善点等		(土地) 令和6年度の評価替えに伴う土地鑑定評価の実施や雑種地(別荘用地、駐車場、資材置場等)に重点を置き、町全域の評価手法の見直しを行った。									翌年度の方向性
		(家屋) 通常の新築(増築)家屋の件数は237件(R4:222件)であり、ほぼ横ばいの状態であった。 全棟調査について調査の加速化のためAI家屋外形図を作成した結果、賦課対象判定物件が約21,800件抽出された。令和6年度以降、判定物件が課税対象家屋かどうかの判定(一次調査)および課税対象家屋の調査(二次調査)を進め、早期の業務完了を目指す。									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	税務課	款項目事業	02-02-02-03		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
諸税費		前年度	31,614,000	0	0	0	31,614,000	30,827,240	786,760	97.51	
		当該年度	32,034,000	440,000	0	0	32,474,000	31,752,325	721,675	97.78	
事業概要		軽自動車税、入湯税、町たばこ税の賦課、各税に係るシステムの管理、各種税証明書等の発行									
評価・改善点等		納税者の納入機会の拡大及び利便性の向上を図るため、対象税目4税の納税通知書を全国統一様式へ変更し、QRコードを活用した納税を可能とした。納税者のみならず、金融機関、町双方の収納事務の負担軽減にもつながった。今後は利用者拡大に向けた周知、広報を行っていく必要がある。									翌年度の 方向性
		町の知名度向上及び町民に町への愛着を深めていただくため、那須オリジナル図柄入りナンバープレートを作成し、令和5年10月から交付をスタートした。									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	税務課	款項目事業	02-02-02-04		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
徴收費		前年度	12,673,000	0	0	0	12,673,000	9,980,926	2,692,074	78.76	
		当該年度	11,861,000	0	2,000	0	11,861,000	9,283,248	2,577,752	78.27	
事業概要		町税の収納、収納率向上の対策、町税の滞納整理									
評価・改善点等		現年収納率については、過去最高の値となった。これは預貯金照会のデジタル化により、精度の高い滞納処分が実現できていることや催告回数の増加により自主納付が増えてきたことが要因と考えられる。 今後は郵送料が値上げとなることから催告方法を検討していく必要がある。税の公平公正の実現のため収納率向上対策の強化を図る。									翌年度の 方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	02-03-01-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
戸籍住民基本台帳費		前年度	73,945,000	5,242,000	1,460,000	3,300,000	83,947,000	69,461,745	14,485,255	82.74
		当該年度	47,735,000	627,000	539,000	0	48,901,000	34,863,046	2,355,954	71.29
事業概要		住民基本台帳、印鑑登録管理、中長期在留者住居地届出、臨時運行許可、マイナンバー、戸籍届出受理・記載、埋・火・改葬許可、那須聖苑使用許可、各種証明書発行、窓口業務委託事務および改正戸籍法に基づく戸籍事務内連携のための戸籍情報システム改修								
評価・改善点等		窓口委託業務を終了した後も業務の引き継ぎが適切に行われスムーズに職員による直営化に移行できた。また、マイナンバーカードの交付体制を強化し交付率が向上した。今後は、マイナンバーカード関連事業でもある行政システムの標準化や戸籍の振り仮名記載に向けた準備を進め、コンビニ交付等、社会インフラを活用した行政サービスの充実のためマイナンバーカードの交付率向上を目指す。								
		翌年度の 方向性								
		拡充								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-01-07		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
国民健康保険基盤安定制度費		前年度	201,398,000	1,252,000	0	0	202,650,000	202,650,000	0	100.00	
		当該年度	195,638,000	▲ 30,958,000	0	0	164,680,000	164,680,000	0	100.00	
事業概要		低所得者、未就学児、産前産後者の国民健康保険税を軽減した分について、国、県及び町が国民健康保険法に基づき負担									
評価・改善点等		低所得者の経済的負担を軽減するとともに、国民健康保険財政を健全に運営することができた。今後も引き続き適正な事務運営を行う。									翌年度の 方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-01-08		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
国民健康保険特別会計繰出金		前年度	60,042,000	1,620,000	0	0	61,662,000	61,662,000	0	100.00
		当該年度	54,997,000	2,050,000	0	0	57,047,000	57,047,000	0	100.00
事業概要		国民健康保険特別会計を運営するために必要な人件費等の経費を総務省通知（繰出基準）に基づき負担								
評価・改善点等		繰出しの対象となる経費の一部を繰り出し、国民健康保険財政を健全に運営することができた。 今後は、国民健康保険財政の安定的な運営のため、事務費に係る繰出しや、国保財政安定化支援事業に係る繰出しについて検討が必要。								
		翌年度の 方向性 拡充								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-01-09		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
後期高齢者医療費		前年度	309,808,000	▲ 10,180,000	0	0	299,628,000	299,627,377	623	100.00
		当該年度	325,109,000	25,156,000	0	0	350,265,000	350,264,339	661	100.00
事業概要		後期高齢者医療療養給付費の法定負担(栃木県後期高齢者医療広域連合へ支払い)								
評価・改善点等		後期高齢者医療制度の安定的な療養給付を行うことができた。今後は被保険者数の増加や、それに伴う療養給付費の増加により支出が増加することが予想されるため、医療費適正化の取組を行う。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-01-10		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
後期高齢者医療広域連合負担金		前年度	13,035,000	0	0	0	13,035,000	13,034,965	35	100.00
		当該年度	13,024,000	0	0	0	13,024,000	13,022,469	1,531	99.99
事業概要		広域連合規約に基づく栃木県後期高齢者医療広域連合の運営経費負担								
評価・改善点等		栃木県後期高齢者医療広域連合の安定的な運営を行うことができた。今後も引き続き栃木県及び県内他市町と連携し安定的な運営を図る。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-01-11		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
後期高齢者医療保険基盤安定制度費		前年度	91,142,000	▲ 7,863,000	0	0	83,279,000	83,278,800	200	100.00
		当該年度	90,351,000	0	0	0	90,351,000	90,351,000	0	100.00
事業概要		広域連合規約に基づく栃木県後期高齢者医療広域連合の運営経費負担（保険料軽減分）								
評価・改善点等		低所得者等の経済的負担を軽減するとともに、後期高齢者医療制度を安定的に運営することができた。 今後も引き続き安定的な運営を図る。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-02-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
国民年金事務費	前年度	114,000	0	0	0	114,000	113,314	686	99.40
	当該年度	112,000	0	0	0	112,000	61,086	50,914	54.54
事業概要	国民年金被保険者の得喪届、免除申請、任意加入などの申請受付及び厚生労働大臣への報告事務、老齢年金、障害年金受給申請、死亡による未支給年金請求書の受付及び厚生労働大臣への報告								
評価・改善点等	国民年金に係る各種届出の受付、厚生労働大臣への報告事務を年金事務所と連携を図りながら遅滞なく正確に行うことができた。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-03-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
重度心身障害者医療費	前年度	46,306,000	0	0	0	46,306,000	42,484,581	3,821,419	91.75
	当該年度	42,484,000	0	▲ 227,000	0	42,257,000	40,885,335	1,371,665	96.75
事業概要	重度心身障害者に対する医療費助成								
評価・改善点等	重度心身障害者の医療費負担を軽減することができた。 償還払いではなく現物給付により行うよう制度の見直しに取り組む。また、重度心身障害者のうち65歳以上で後期高齢者医療保険へ移行していない方への助成が1割までとなっていることについても見直しに取り組む。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-03-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
こども医療費	前年度	70,955,000	0	▲ 268,000	0	70,687,000	65,225,128	5,461,872	92.27
	当該年度	57,786,000	17,318,000	227,000	0	75,331,000	75,183,680	147,320	99.80
事業概要	18歳以下の子どもに対する医療費助成								
評価・改善点等	子育て世帯の経済的負担を軽減することができた。今後は、医療費適正化をさらに進めるため、正しい受診の方法などについて保護者や学校等に啓発していく。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-03-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
妊産婦医療費		前年度	2,498,000	0	0	0	2,498,000	2,230,359	267,641	89.29
		当該年度	2,566,000	0	0	0	2,566,000	1,645,270	920,730	64.12
事業概要		妊産婦に対する医療費助成								
評価・改善点等		妊産婦の経済的負担を軽減することができた。今後も引き続き適正な運営を行う。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-03-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
ひとり親家庭医療費		前年度	4,267,000	0	268,000	0	4,535,000	4,520,287	14,713	99.68
		当該年度	4,326,000	473,000	0	0	4,799,000	4,630,347	168,653	96.49
事業概要		ひとり親家庭の親と子どもに対する医療費助成								
評価・改善点等		ひとり親家庭の経済的負担を軽減することができた。今後も引き続き適正な運営を行う。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-01-03-05		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
養育医療費		前年度	971,000	3,382,000	0	0	4,353,000	1,901,656	2,451,344	43.69
		当該年度	801,000	637,000	0	0	1,438,000	637,449	800,551	44.33
事業概要		医師が入院治療等を要すると認めた乳児に対する医療費助成								
評価・改善点等		令和5年度は対象となる乳児がいなかったが、対象乳児の保護者の経済的負担を軽減することができるよう、引き続き適正な事務運営を行う。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-02-03-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
児童手当費		前年度	255,843,000	0	92,000	0	255,935,000	245,814,425	10,120,575	96.05
		当該年度	249,843,000	0	0	0	249,843,000	233,555,866	16,287,134	93.48
事業概要		中学校卒業までの児童を対象とする手当金の支給								
評価・改善点等		該当する全ての方に遅滞なく確実に手当金を支給することができた。 児童手当法改正に伴う抜本的拡充が令和6年10月から実施されることにより、支給額の増加が見込まれる。								翌年度の 方向性
										拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-02-03-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
遺児手当費		前年度	288,000	0	0	0	288,000	240,000	48,000	83.33
		当該年度	288,000	0	0	0	288,000	222,000	66,000	77.08
事業概要		中学校卒業までの児童（遺児）を対象とする手当金の支給								
評価・改善点等		該当する全ての方に遅滞なく確実に手当金を支給することができた。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	住民生活課	款項目事業	03-02-03-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
子育て世帯生活支援特別給付金事業費		前年度	0	17,166,000	0	0	17,166,000	16,410,684	755,316	95.60
		当該年度	0	13,466,000	0	0	13,466,000	12,726,263	739,737	94.51
事業概要		令和4年度「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分）」を受給した世帯等へ児童一人当たり一律50,000円を支給。食費等の物価高騰による影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援するための給付金（国の施策）								
評価・改善点等		該当する全ての方に遅滞なく確実に手当金を支給することができた。								
		翌年度の 方向性 廃止								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	環境課	款項目事業	04-01-03-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
生活環境整備費	前年度	15,085,000	591,000	470,000	0	16,146,000	15,962,393	183,607	98.86
	当該年度	16,161,000	0	0	0	16,161,000	15,961,637	199,363	98.77
事業概要	犬・猫の登録・狂犬病予防注射等、飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術費補助、生ごみ処理機器設置事業補助、土砂埋立て関係、黒磯那須共同火葬場組合負担金								
評価・改善点等	飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術費補助については、動物の愛護及び管理についての意識を高める上で有効的である。昨今は特定の飼い主のいない、いわゆる地域猫等への補助制度の利用拡大を求める声があることから、対応を検討する必要がある。生ごみ処理機器設置補助については、生ごみの減量化を図る有効な制度であり、資源を循環する上で必要であるため継続的に取り組んで行く。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	環境課	款項目事業	04-01-04-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
環境保全費	前年度	3,981,000	88,000	0	0	4,069,000	3,560,406	508,594	87.50
	当該年度	4,053,000	0	0	0	4,053,000	3,224,197	828,803	79.55
事業概要	地球温暖化対策、再生可能エネルギー、公害対策、生物多様性などの環境保全活動								
評価・改善点等	ゼロカーボンシティ宣言や地球温暖化防止実行計画(区域施策編)に基づいた施策の展開により、二酸化炭素排出量の削減や再生可能エネルギーの普及に向けた取り組みを推進している。しかし、事業者や個人の取り組みを後押しする具体的な支援制度等がないことから、今後は県が実施する県営水力発電収入を活用した地域脱炭素化促進事業等の活用も視野に入れた事業を検討する必要がある。 河川の水質分析、新幹線の騒音測定等により住民の生活環境の保全を図る。								翌年度の 方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	環境課	款項目事業	04-01-04-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
放射能対策事業費	前年度	58,738,000	▲ 16,336,000	0	0	42,402,000	29,485,076	12,916,924	69.54
	当該年度	40,733,000	▲ 6,400,000	0	0	34,333,000	25,594,045	8,738,955	74.55
事業概要	除去土壌等及び農業系指定廃棄物の管理・集約、放射線量測定、放射能食品検査								
評価・改善点等	家庭や公共施設等の敷地などで保管されている除去土壌等については、町内1カ所への集約が決定し、来年度は集約地の整備を行い、再来年度から搬出作業を行っていく予定。 農業系指定廃棄物については、現在、施設整備が進められており、令和6年度から搬出作業を行っていく予定。								翌年度の 方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	環境課	款項目事業	04-02-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
清掃総務費	前年度	266,569,000	▲ 3,957,000	255,000	0	262,867,000	262,833,975	33,025	99.99
	当該年度	271,225,000	0	0	0	271,225,000	271,180,739	44,261	99.98
事業概要	クリーンステーション那須管理運営業務、広域クリーンセンター大田原運営費負担金								
評価・改善点等	ごみ処理中継施設であるクリーンステーションの円滑な運営が図られている。広域クリーンセンター大田原運営費負担金については、令和3年度をもって焼却施設部分の基幹的改良工事が終了したため縮小したが、令和6年度からリサイクル施設部分の基幹的改良工事(令和6～8年度)が予定されており、今後も費用の増加が見込まれる。								翌年度の方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	環境課	款項目事業	04-02-02-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
塵芥収集費	前年度	243,963,000	▲ 6,593,000	▲ 255,000	0	237,115,000	229,679,015	7,435,985	96.86
	当該年度	253,645,000	▲ 895,000	0	0	252,750,000	247,454,155	5,295,845	97.90
事業概要	ごみ収集運搬等業務委託、一般廃棄物最終処分場管理・運営費負担金								
評価・改善点等	家庭系のごみ収集運搬等業務については、塵芥収集車や施設の老朽化に伴いR7年度からは広域クリーンセンター大田原への直接搬入になる。ごみ収集運搬業務を複数年契約で行うことにより、安定したサービスの提供及び委託コスト縮減を図る。 クリーンステーション那須内にある可燃ごみ中継施設の廃止に向けた検討を進めて行く。								翌年度の方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	環境課	款項目事業	04-02-03-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
し尿処理費	前年度	64,430,000	0	0	0	64,430,000	64,430,000	0	100.00
	当該年度	102,185,000	0	0	0	102,185,000	102,185,000	0	100.00
事業概要	し尿や浄化槽汚泥処理に係る負担金								
評価・改善点等	現在、那須地区広域行政事務組合(第2衛生センター)のし尿処理負担金については、構成する3市町のし尿搬入量等で案分し決定している。今後は、現施設(第2衛生センター)の老朽化に伴う延命化工事や新し尿受入施設(黒磯水処理センター)の整備を進める必要があるため、大幅な負担金の増加が見込まれる。								翌年度の方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	02-01-15-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
人権擁護費		前年度	198,000	0	0	0	198,000	81,863	116,137	41.34
		当該年度	104,000	0	0	0	104,000	94,646	9,354	91.01
事業概要		人権擁護活動支援								
評価・改善点等		人権擁護活動を継続することにより人権に対する理解が広がっている。今後も人権擁護委員活動の支援継続が必要である。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-01-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
社会福祉総務費		前年度	24,375,000	135,000	420,000	0	24,930,000	23,680,907	1,249,093	94.99
		当該年度	24,488,000	0	418,000	0	24,906,000	24,313,791	592,209	97.62
事業概要		高齢者見守りネットワーク、福祉タクシー、特定疾患見舞金、生活困窮者就労準備支援、心配ごと相談、行旅死亡人火葬								
評価・改善点等		高齢者の福祉サービスと共に特定疾病、生活困窮者の支援を継続している。高齢者のみ世帯が増加する中、見守り体制の強化が引き続き課題となっている。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-01-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
民生委員・児童委員活動費		前年度	6,265,000	0	0	0	6,265,000	6,265,000	0	100.00
		当該年度	6,053,000	0	0	0	6,053,000	6,053,000	0	100.00
事業概要		民生委員児童委員協議会運営支援								
評価・改善点等		法令に基づき民生委員児童委員活動の費用弁償等必要な支援を行った。民生委員児童委員は地域の身近な相談役として欠かせない存在であり、継続して活動を支援していく必要がある。委員の高齢化や担い手不足が課題である。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-01-05		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
社会福祉団体育成費		前年度	45,728,000	0	0	0	45,728,000	45,324,516	403,484	99.12
		当該年度	47,685,000	0	0	0	47,685,000	47,636,940	48,060	99.90
事業概要		社会福祉協議会運営補助、遺族会運営補助								
評価・改善点等		地域の社会福祉活動において社会福祉協議会の果たす役割は大きい。その運営費を補助することにより、地域の社会福祉活動の推進が図られている。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-01-06		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
福祉ふれあいタウン管理費	前年度	1,892,000	0	63,000	0	1,955,000	1,941,769	13,231	99.32	
	当該年度	1,872,000	44,000	57,000	0	1,973,000	1,927,737	45,263	97.71	
事業概要		ゆうゆうセンター、シルバーワークの施設管理								
評価・改善点等		福祉施設の施設管理を実施しているが、ゆうゆうセンターの老朽化等経年的な補修や修繕の可能性があり、適切に管理する必要がある。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-04-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
高齢者福祉費		前年度	11,001,000	0	0	0	11,001,000	8,450,000	2,551,000	76.81
		当該年度	8,356,000	0	0	0	8,356,000	8,075,360	280,640	96.64
事業概要		シルバー人材センター、シニアクラブ連合会の補助								
評価・改善点等		高齢者福祉団体活動の推進が図られることにより、高齢者の介護予防等健康寿命の延伸に寄与している。しかし、近年はシニアクラブ会員減少により、活動の継続が課題となっている。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-04-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
敬老会費		前年度	15,429,000	▲ 1,690,000	0	0	13,739,000	13,424,942	314,058	97.71
		当該年度	17,774,000	0	0	0	17,774,000	16,510,066	1,263,934	92.89
事業概要		敬老祝金の支給、敬老祝事業の補助								
評価・改善点等		敬老思想の高揚が図られているが、平均寿命の延伸等により、年々対象者が増加している。実施方法について考え方は様々なため、地区社会福祉協議会等の意見を聞きながら見直しを図る。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-04-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
在宅高齢者福祉対策費		前年度	6,883,000	0	0	0	6,883,000	5,969,180	913,820	86.72
		当該年度	6,710,000	0	0	0	6,710,000	5,905,230	804,770	88.01
事業概要		高齢者の生きがいと健康づくり推進事業委託、高齢者安心コール事業								
評価・改善点等		高齢者の生きがいと健康づくり事業により、介護予防や健康寿命の延伸に寄与している。しかし、シニアクラブの会員減少により、活動が困難となっていることが課題となっている。 お年寄り安心コールシステムの設置により、在宅高齢者の総合的な在宅福祉に繋がっている。民生委員や生きがいサロン等の活動を通じて、設置者も増加してる。								
		翌年度の方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-04-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
老人ホーム入所措置費		前年度	76,368,000	0	50,000	0	76,418,000	66,190,362	10,227,638	86.62
		当該年度	77,139,000	▲ 17,613,000	▲ 429,000	0	59,097,000	56,756,604	2,340,396	96.04
事業概要		老人ホーム入所施設の措置費用負担								
評価・改善点等		老人ホームへの措置により、やむを得ない事情により在宅等で生活を継続することが困難な高齢者の生活が確保されている。高齢者の増加による措置入所の可能性の増加が課題である。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-04-05	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
介護保険特別会計繰出金	前年度	467,652,000	▲ 1,012,000	0	0	466,640,000	466,640,000	0	100.00
	当該年度	479,255,000	▲ 5,449,000	0	0	473,806,000	473,806,000	0	100.00
事業概要	介護給付・予防給付の費用等の公費負担								
評価・改善点等	給付の法定割合分、職員費や事務費等の費用分を一般会計から負担することにより、介護保険特別会計の安定的な運営が図られている。今後、超高齢社会に対応するため、体制づくりや安定した財政基盤の確保が必要となる。								翌年度の 方向性 維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-04-06	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
介護保険特別事業費	前年度	648,000	3,807,000	0	0	4,455,000	4,099,330	355,670	92.02
	当該年度	648,000	71,000	0	0	719,000	548,402	170,598	76.27
事業概要	社会福祉法人等による利用者負担額軽減								
評価・改善点等	低所得者の利用負担軽減に取り組んだ社会福祉法人を助成することで、低所得利用者の介護保険サービスの利用促進が図られている。								翌年度の 方向性 維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-05-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
障害者福祉費	前年度	3,106,000	660,000	0	0	3,766,000	3,131,778	634,222	83.16
	当該年度	3,013,000	680,000	0	0	3,693,000	3,199,812	493,188	86.65
事業概要	障害者差別解消に向けた啓発活動、障害福祉団体補助、在宅重度心身障害児者見舞金の支給								
評価・改善点等	障害者差別解消に向けた啓発活動、障害福祉団体補助、在宅重度心身障害児者見舞金の支給を着実に実施していた。啓発活動は、長期に渡り継続的に実施していくことが必要である。								翌年度の 方向性 維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-05-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
障害者自立支援費	前年度	573,709,000	175,537,000	235,000	0	749,481,000	733,085,418	16,395,582	97.81
	当該年度	704,270,000	52,129,000	0	0	756,399,000	737,062,482	19,336,518	97.44
事業概要	障害者自立支援医療や障害福祉サービスの実施								
評価・改善点等	障害者の日常生活を総合的に支援するための法律に基づく法定サービス(施設入所やヘルパー支援、補装具の給付など)を実施してきた。障害者の日々の暮らしを支えるため必要不可欠なサービスについて、継続的に事業を実施していく必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	03-01-05-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
障害者地域生活支援費	前年度	62,728,000	3,484,000	0	0	66,212,000	62,661,962	3,550,038	94.64
	当該年度	67,836,000	▲ 2,031,000	0	0	65,805,000	62,720,471	3,084,529	95.31
事業概要	りんどう作業所の管理運営委託、障害者地域生活支援事業の実施								
評価・改善点等	障害者の日常生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業(ストーマ装具の給付やりんどう作業所の運営委託)を実施してきた。障害者の日々の暮らしを支えるため、法定サービスでは手が届かない部分について、継続的に事業を実施していく必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	04-01-01-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
保健衛生総務費	前年度	37,935,000	1,030,000	0	0	38,965,000	35,963,378	3,001,622	92.30
	当該年度	32,430,000	▲ 1,635,000	270,000	0	31,065,000	30,554,628	510,372	98.36
事業概要	公的病院の周産期・小児医療等不採算部門に対する助成、衛生用品等の備蓄								
評価・改善点等	地域医療の体制確保のための必要な助成や、新たな感染症及び災害時を見据えた衛生用品の備蓄管理は今後も継続が必要である。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	04-01-02-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
成人保健費		前年度	38,484,000	▲ 2,382,000	0	0	36,102,000	32,137,324	3,964,676	89.02
		当該年度	37,832,000	0	0	0	37,832,000	33,861,855	3,970,145	89.51
事業概要		各種健(検)診の実施、病気の早期発見と生活改善のための相談や教室を実施								
評価・改善点等		健康寿命の延伸を目指し、受診率向上のためオンラインによる申し込みや通知による勧奨、及び受診者に対する保健指導の継続が必要である。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	04-01-02-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
健康づくり費		前年度	3,239,000	0	100,000	0	3,339,000	2,921,476	417,524	87.50
		当該年度	3,584,000	385,000	0	0	3,969,000	3,648,275	320,725	91.92
事業概要		健康づくり教室やこころの健康づくり相談の実施、健康ポイント事業による運動習慣の定着化								
評価・改善点等		当町の主な生活習慣病の傾向としては、高血圧、糖尿病、脂質異常症である。これらの病気を予防するためには運動習慣の定着化が必要なため、引き続き事業の継続が必要である。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	04-01-02-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
予防接種費		前年度	63,425,000	0	0	0	63,425,000	57,439,708	5,985,292	90.56
		当該年度	62,124,000	0	0	0	62,124,000	55,716,707	6,407,293	89.69
事業概要		各種予防接種に対する助成								
評価・改善点等		予防接種を実施することで発症予防と重症化予防ができるため今後も継続が必要である。								翌年度の方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	04-01-02-05		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
新型コロナウイルスワクチン接種費		前年度	66,331,000	138,261,000	0	0	204,592,000	140,865,502	63,726,498	68.85
		当該年度	0	56,798,000	0	0	56,798,000	49,919,404	6,878,596	87.89
事業概要		新型コロナウイルスワクチン集団接種の実施								
評価・改善点等		令和6年度より臨時特例接種から定期接種に移行したため、集団接種事業は令和5年度をもって廃止。								
		廃止 (統合)								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	保健福祉課	款項目事業	12-01-01-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
災害援護資金元金償還金		前年度	612,000	0	0	0	612,000	544,373	67,627	88.95
		当該年度	612,000	0	0	0	612,000	561,158	50,842	91.69
事業概要		災害により被災された方に対する貸付金の償還事務								
評価・改善点等		被災者への災害援護資金の貸付により、生活基盤が再建されている。今後も被災者の状況を勘案しつつ、貸付金の償還を継続していく。								
		翌年度 の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-03-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
農業振興対策費	前年度	62,393,000	7,086,000	0	0	69,479,000	60,098,529	9,380,471	86.50
	当該年度	63,206,000	3,463,000	0	0	66,669,000	56,626,535	10,042,465	84.94
事業概要	担い手確保、新規就農者、後継者育成、農地集積等農業振興対策全般								
評価・改善点等	振興作物栽培支援事業を開始したことにより農業者の経営安定対策を図った。また、農業公社事業として、認定農業者及び4Hクラブ等担い手活動の支援や農地集積及び6次産業化支援など、農業経営改善に貢献した。 持続可能な農業活動のため各事業を実施しているが、今後も環境に配慮した事業に取り組むなど関係機関と連携が必要である。また、後継者育成支援として就農支援補助事業などを実施しているが、担い手の育成確保において更なる対策を検討していく必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-03-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
中山間地域等直接支払費	前年度	44,882,000	1,700,000	0	0	46,582,000	46,403,059	178,941	99.62
	当該年度	44,808,000	900,000	0	0	45,708,000	45,697,850	10,150	99.98
事業概要	中山間地域の協定集落を対象とした農業生産活動維持のための交付金、中山間地域づくりを対象とした事業								
評価・改善点等	24集落に交付金を交付し、水路や農道の共同管理や景観作物の作付け等に取り組み、中山間地域の農地の維持管理を図ることができた。担い手不足により、事業継続が厳しい中、5ヵ年計画達成に向けての支援継続が必要である。また、道の駅友愛の森整備計画に伴うソフト事業においては、引き続き支援継続とする。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-03-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
農業経営安定化対策費	前年度	12,669,000	355,000	0	0	13,024,000	12,006,906	1,017,094	92.19
	当該年度	9,568,000	1,710,000	0	0	11,278,000	10,956,971	321,029	97.15
事業概要	米の生産調整のため作付け転換等の取り組みに対する農業者支援事業、地域計画策定に伴う事業								
評価・改善点等	米の安定供給のため事業促進したことにより本年度も作付け転換の目標値を達成した。 なお、新事業の畑地化対策事業においては支援体制強化が必要である。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-03-05	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
地産地消推進費	前年度	0	1,360,000	0	0	1,360,000	1,326,500	33,500	97.54
	当該年度	660,000	0	0	0	660,000	660,000	0	100.00
事業概要	地域農産物の地産地消を推進するため、町内中学生による農産物をテーマとしたラジオ番組作成								
評価・改善点等	地元の農産物を知ることによって農業の大切さと郷土愛を育むことができた。 農作物PRは、推進に繋げるため今後どのように進めるべきか検討が必要である。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-04-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
畜産振興費	前年度	6,716,000	2,154,000	0	0	8,870,000	8,272,882	597,118	93.27
	当該年度	7,034,000	9,250,000	30,000	0	16,314,000	12,231,100	4,082,900	74.97
事業概要	那須和牛宣伝、優良牛整備、乳用牛群改良推進、牛疾病防疫に対する支援								
評価・改善点等	畜産農家戸数が減少傾向ではあるが、1戸あたりの飼養頭数が増加傾向であるため、優良牛整備等の 補助を継続することで、担い手となる畜産農家への支援を継続していく。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-04-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
畜産担い手育成総合整備費	前年度	65,050,000	82,468,000	0	55,794,000	203,312,000	119,935,000	83,377,000	58.99
	当該年度	39,680,000	0	0	76,808,000	116,488,000	95,972,000	20,516,000	82.39
事業概要	国庫補助事業を活用し、意欲ある町内畜産農家及び那須町共同利用模範牧場の生産基盤再編整備を補助することによる、生産・経営基盤の強化。								
評価・改善点等	畜産担い手育成総合整備事業(那須高原牧場地区)により共同利用模範牧場内の草地等整備及び鳥獣 被害防止施設整備を実施した。過年度からの継続した鳥獣被害防止施設整備の実施により、牧草生産量 が回復傾向にある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-04-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
飼料価格高騰対策臨時支援費	前年度	0	50,200,000	18,000	0	50,218,000	48,648,825	1,569,175	96.88
	当該年度	0	51,000,000	0	0	51,000,000	48,418,359	2,581,641	94.94
事業概要	購入粗飼料等価格の高騰による町内畜産農家等への影響を緩和するため、粗飼料の価格高騰分の一部を支援することにより、経営の安定化を図るための補助。								
評価・改善点等	町内の畜産農家が飼養する乳用牛7,514頭、肉用牛10,790頭への補助を実施。事業目的達成のため、本事業は廃止とする。								翌年度の 方向性
									廃止

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-05-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
農地費	前年度	26,870,000	▲ 419,000	0	0	26,451,000	26,371,176	79,824	99.70
	当該年度	24,339,000	0	0	0	24,339,000	23,966,017	372,983	98.47
事業概要	農業・農村の持つ国土や自然環境の保全等の多面的機能に係わる活動組織に対する交付金の交付、遊行庵周辺及び菰沢彼岸花公園においては除草等の維持管理、那須町土地改良区の運営費補助								
評価・改善点等	農地の維持及び農業用施設等の地域資源の向上が図れた。 高齢化・農業従事者の減少等により組織の弱体化が懸念され、組織統合や機械化などによる対応が必要となる。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-05-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
土地改良費	前年度	7,915,000	6,207,000	1,644,000	0	15,766,000	11,517,827	4,248,173	73.05
	当該年度	11,362,000	39,597,000	715,000	4,200,000	55,874,000	49,678,000	6,196,000	88.91
事業概要	土地改良区や地元水利組合に対する水路改修等に係る費用の補助								
評価・改善点等	水路等の改修工事により農業生産基盤の保全が図れた。 高齢化や後継者不足等により農業経営が困難になる農業者が増加することが予想されるため、圃場整備等の実施により担い手等が耕作しやすい農地にする必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-06-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
牧場管理運営費		前年度	40,029,000	0	0	0	40,029,000	31,941,252	8,087,748	79.80
		当該年度	34,886,000	0	2,064,000	7,033,000	43,983,000	28,971,648	15,011,352	65.87
事業概要		共同利用模範牧場の管理運営								
評価・改善点等		過年度から継続した鳥獣被害防止施設整備を実施した効果もあり、牧草の収穫量が回復傾向である。また、指定管理者による管理運営については、安定した体制の中で良好であった。 町内畜産農家の利用状況や将来における施設整備費用を勘案し、令和6年度をもって指定管理者制度による牧場運営をやめ、牛の預託受入れを一旦休止とし、牧場のあり方について見直す方針である。								翌年度の 方向性
										縮小

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-01-07-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
矢の目ダム管理費		前年度	12,409,000	0	3,024,000	0	15,433,000	14,996,236	436,764	97.17
		当該年度	12,961,000	0	1,099,000	0	14,060,000	13,372,698	687,302	95.11
事業概要		矢の目ダム管理運営								
評価・改善点等		施設巡視、設備修繕により適正な管理運営が図れた。各施設の老朽化により計画的に施設の更新を行う必要があり、ダム管理主任技術者の育成も必要になる。R5年度に機能診断実施により更新が必要な設備等について県営事業によりR7年度実施設計、R8、9年度に改修工事を予定している。								翌年度の 方向性
										拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-02-01-01		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
林業振興費		前年度	943,000	0	0	0	943,000	596,156	346,844	63.22	
		当該年度	1,014,000	0	0	0	1,014,000	400,946	613,054	39.54	
事業概要		林業関係団体の運営費及び森林の保全活動に取り組む団体等に対し、費用の一部を負担									
評価・改善点等		林業関係団体の適正な運営が図られた。 森林の保全活動に取り組む2つの活動組織に支援を行い、地域の里山林の保全が図られた。 侵入竹等による里山林の荒廃が懸念される。									翌年度の 方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-02-01-02		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
林道維持管理費	前年度	5,425,000	0	390,000	0	5,815,000	5,439,776	375,224	93.55	
	当該年度	3,681,000	0	207,000	0	3,888,000	3,663,980	224,020	94.24	
事業概要	町が管理している林道維持管理のための、刈払いの実施、標識の設置、森林組合が行う作業道整備に対する補助									
評価・改善点等	林道の適正な維持管理が図られ、通行の安全性を確保した。作業道の整備が図られ、森林の適正な施業及び育成が実施できた。 老朽化が懸念される林道橋があり、令和4年度に5年に1度の点検を実施した結果、健全性がⅡ（道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。）と診断され一部補修が必要である。（令和6年度に補修予定）									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-02-01-03		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
森林整備保全費	前年度	6,484,000	▲ 4,400,000	0	0	2,084,000	1,715,850	368,150	82.33	
	当該年度	2,906,000	0	0	0	2,906,000	2,792,664	113,336	96.10	
事業概要	那須街道周辺の松林の松くい虫被害防止のための、薬剤の地上散布及び樹幹注入									
評価・改善点等	松くい虫による被害を防止し、森林環境の維持が図られた。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-02-01-04		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
有害鳥獣対策費	前年度	15,441,000	▲ 3,000,000	0	0	12,441,000	8,889,632	3,551,368	71.45	
	当該年度	12,791,000	▲ 1,000,000	0	0	11,791,000	8,197,255	3,593,745	69.52	
事業概要	農林業や生活環境に被害を与える有害鳥獣に対し、那須町鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動及び鳥獣被害対策への支援									
評価・改善点等	令和5年度はイノシシ216頭・サル17頭・シカ59頭の捕獲を実施。また、鳥類一斉捕獲や鳥獣被害防護柵設置支援を実施し、農林業や生活環境への被害の軽減が図られた。 鳥獣被害対策実施隊員の高齢化や新規隊員の確保が課題であるため、狩猟免許取得補助や猟銃等購入補助を継続して実施し、事業の周知を図っていく。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-02-01-05	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
とちぎの元気な森づくり事業費	前年度	3,000,000	0	0	0	3,000,000	3,000,000	0	100.00
	当該年度	3,000,000	▲ 500,000	0	0	2,500,000	2,500,000	0	100.00
事業概要	里山林整備のための、森づくり活動団体の実施する刈払い等の費用に対する補助金の交付(芦野地区地方創生協議会)								
評価・改善点等	里山林整備活動の実施により、野生獣被害対策、里山林の景観形成や保全が図られた。里山林の保全に有効な活動であるため、事業の周知を図っていく。 森づくり活動団体の育成確保が課題である。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-02-01-06	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
森を育む事業費	前年度	59,644,000	▲ 13,500,000	0	0	46,144,000	39,439,924	6,704,076	85.47
	当該年度	43,903,000	0	0	0	43,903,000	41,399,661	2,503,339	94.30
事業概要	森林環境譲与税を活用した、間伐や人材育成、担い手の確保、木材の利用促進や普及啓発								
評価・改善点等	森林経営管理制度に基づき、経営管理が行われていない森林の間伐等の実施により適正な森林整備が図られた。 公民館との共催による木工教室・森林環境学習の実施により、木の良さや森林に対する理解の促進が図られた。 林業経営体への補助金の交付により、林業担い手の支援が図られた。 今後も、森林環境譲与税の有効な活用方法を調査・研究し、更なる森林環境整備に努める。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	06-02-02-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
農山村施設管理費	前年度	3,127,000	0	0	0	3,127,000	2,798,680	328,320	89.50
	当該年度	3,597,000	0	36,000	0	3,633,000	3,578,643	54,357	98.50
事業概要	農村婦人の家・山村施設(遊行庵農産物直売所、富岡集落センター、稲沢集落センター等)の維持補修等の施設管理								
評価・改善点等	稲沢体育センター・集落センターの修繕工事等の実施により利用者の利便性が向上した。 施設の老朽化が進んでおり、事業費の拡大が懸念されるため、計画的な改修、廃止等を検討する必要がある。 令和5年度から、農村婦人の家を山村施設と併せて管理しており、事業名を農山村施設管理費に改め、施設管理を実施している。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	08-04-02-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
地籍調査費		前年度	20,759,000	▲ 348,000	0	0	20,411,000	16,358,383	70,617	80.14
		当該年度	9,740,000	15,720,000	0	3,982,000	29,442,000	12,549,021	16,892,979	42.62
事業概要		土地の明確化を図るため地籍調査を実施。								
評価・改善点等		新高久地区Ⅱ地区の工程が完了した。また、当町では初めてとなる航空測量法を用いた調査を伊王野Ⅰ地区にて開始した。しかし年々国庫補助金、交付金が減少していることから、実施面積の縮小や10ヵ年計画の柔軟な見直しなどが必要である。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	11-02-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
農地災害復旧費		前年度	1,000	995,000	398,000	0	1,394,000	752,000	642,000	53.95
		当該年度	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	0.00
事業概要		被災した農地の復旧								
評価・改善点等		令和5年度補助金実績なし。 災害対応は早期の被害確認を行い適切な予算を確保を図る。 ※支出がないため未評価								翌年度の 方向性

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農林振興課	款項目事業	11-02-02-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
農業用施設災害復旧費		前年度	1,000	995,000	597,000	0	1,593,000	1,119,000	474,000	70.24
		当該年度	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	0.00
事業概要		被災した農業用施設の復旧								
評価・改善点等		令和5年度補助金実績なし。 災害対応は早期の被害確認を行い適切な予算を確保を図る。 ※支出がないため未評価								翌年度の 方向性

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	農業委員会事務局	款項目事業	06-01-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
農業委員会費	前年度	17,854,000	3,276,000	991,000	520,000	22,641,000	21,829,816	811,184	96.42
	当該年度	18,872,000	135,000	0	0	19,007,000	18,841,321	165,679	99.13
事業概要	農業委員会の運営、農地法に基づく許認可、農地利用最適化の推進、農業者年金事務、農業委員会サポートシステムの管理運営、開拓道水路の維持管理								
評価・改善点等	農業委員会総会及び農地利用最適化推進会議を開催し、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進等について協議し、農地法に基づく管理及び農地利用の最適化を推進した。また、アンケートや座談会を実施し、目標地図の素図を作成した。今後も修正し、完成度を高めていく必要がある。開拓財産の維持管理に関しては、頻発する豪雨により修繕要望が多くなっている。改めて所管課を協議する必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-01-01-03		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
土木総務費		前年度	1,629,000	0	363,000	0	1,992,000	1,694,133	297,867	85.05	
		当該年度	3,720,000	0	3,000	0	3,723,000	2,405,106	1,317,894	64.60	
事業概要		国・県への町独自要望活動及び各種期成同盟会総会及び要望活動 道路照明電気料、水路敷地料の支払等									
評価・改善点等		国道や県道の整備、交付金事業の活用にあたり、今後も継続して関係機関と連携し実施していく必要がある。									翌年度の 方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-01-01-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
車両管理費		前年度	28,797,000	0	0	0	28,797,000	27,709,858	1,087,142	96.22
		当該年度	19,814,000	0	2,029,000	0	21,843,000	7,638,077	14,204,923	34.97
事業概要		道路維持車両2台、除雪関係車両13台の維持管理								
評価・改善点等		各種車両の老朽化が進んできており、車両の計画的な更新や修繕を行っている。今後も車両の計画的な更新等が必要である。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-02-01-01		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
道路維持費		前年度	246,918,000	▲ 605,000	4,000,000	0	250,313,000	242,622,572	7,690,428	96.93	
		当該年度	313,768,000	17,154,000	0	0	330,922,000	297,766,857	21,561,143	89.98	
事業概要		町道の維持補修、除雪等									
評価・改善点等		舗装の老朽化はもとより、近年の気候変動による台風や集中豪雨による生活道路の浸水被害も多く発生しているため、計画的な修繕や整備が必要である。事業の実施にあたっては、国の補助金を活用し、計画的な修繕や整備を実施していく。									翌年度の 方向性
											拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-02-01-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
道路台帳作成費		前年度	28,132,000	0	0	0	28,132,000	24,511,850	3,620,150	87.13
		当該年度	5,434,000	0	0	0	5,434,000	4,719,550	714,450	86.85
事業概要		道路台帳の修正及び新規作成、道路台帳調書電算集計表作成								
評価・改善点等		道路改良事業が完了した路線の台帳整備は随時行っているが、局部(一部)改良等を実施した路線において、道路台帳を修正していない箇所も複数あるため、継続的に実施していく必要がある。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-02-02-01		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
道路改良工事費		前年度	79,355,000	▲ 6,273,000	0	36,660,000	109,742,000	73,115,483	23,616,517	66.62	
		当該年度	70,167,000	▲ 321,000	0	23,600,000	93,446,000	85,447,649	7,998,351	91.44	
事業概要		町道の拡幅改良・局部改良									
評価・改善点等		計画的に事業に着手しているが、未だに多くの危険箇所や要望などがあるため、今後も継続して行っていく必要がある。事業の実施にあたっては、国の補助金を活用し、計画的に整備を進めていく。									翌年度の方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-02-02-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
道路用地費		前年度	31,829,000	▲ 21,800,000	0	10,867,000	20,896,000	15,876,795	1,270,065	75.98
		当該年度	9,519,000	▲ 3,916,000	0	4,897,000	10,500,000	8,817,224	1,682,776	83.97
事業概要		町道改良事業に係る用地取得								
評価・改善点等		道路改良に伴う用地の取得や登記を実施しているが、未登記町道の多くは公図混乱や未相続などが原因となっており、解消を進めるためには測量費用や時間を要するため、継続的に行う必要がある。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-02-03-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
橋りょう維持費		前年度	134,340,000	▲ 23,456,000	0	0	110,884,000	109,890,000	994,000	99.10
		当該年度	133,430,000	▲ 22,804,000	0	0	110,626,000	80,921,380	29,704,620	73.15
事業概要		橋りょう点検、橋りょう補修工事								
評価・改善点等		法定点検時期を迎えた24橋の点検及び5橋の補修工事を実施した。計画的に補修や更新を実施することにより修繕費用の削減が図れるため計画的に事業を進める必要がある。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-03-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
河川総務費		前年度	5,964,000	19,156,000	0	0	25,120,000	20,204,900	4,915,100	80.43
		当該年度	8,890,000	▲ 6,160,000	0	0	2,730,000	1,300,000	1,430,000	47.62
事業概要		河川の維持・補修								
評価・改善点等		頻発する自然災害に備え、防災・減災を考慮した整備について検討していく必要がある。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-03-01-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
川をきれいにする事業費		前年度	3,393,000	50,000	0	0	3,443,000	2,869,218	573,782	83.33
		当該年度	2,376,000	0	0	0	2,376,000	2,055,820	320,180	86.52
事業概要		「川をきれいにする基金」の運用による水辺環境の整備等								
評価・改善点等		那須水害から25年以上が経過し、河川環境保全の意識が低下していると考えられるため、引き続き河川環境保全の重要性を広めていく必要がある。また、河川の水質維持・向上に向けた活動を継続し、未来のための河川環境保全に務めていく必要がある。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	08-04-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
都市計画総務費		前年度	878,000	0	0	0	878,000	787,355	90,645	89.68
		当該年度	1,053,000	0	0	0	1,053,000	976,218	76,782	92.71
事業概要		土地利用計画及び都市計画マスタープランに基づくまちづくり								
評価・改善点等		超高齢社会の進行及び人口減少に対応した持続可能なまちづくりのため、町内の多様な拠点を保ちつつ、那須町版コンパクトシティの形成を目指すとともに、景観に関する法令等に基づく良好な景観の形成のため規制、誘導を図っていく必要がある。								
		翌年度 の 方向性 拡充								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	11-01-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
道路橋りょう災害復旧費		前年度	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	0.00
		当該年度	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	0.00
事業概要		被災した道路及び橋りょうの災害復旧事業								
評価・改善点等		予測できぬ自然災害に対応する体制の構築を形成していく必要がある。								翌年度の 方向性
		※支出がないため未評価								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	建設課	款項目事業	11-01-01-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
河川災害復旧費		前年度	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	0.00
		当該年度	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	0.00
事業概要		被災した河川の災害復旧事業								
評価・改善点等		予測できぬ自然災害に対応する体制の構築を形成していく必要がある。								翌年度の 方向性
		※支出がないため未評価								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	02-01-12-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
公共交通政策費		前年度	35,445,000	3,387,000	0	0	38,832,000	37,430,421	1,401,579	96.39
		当該年度	35,307,000	6,339,000	0	0	41,646,000	38,643,929	3,002,071	92.79
事業概要		地域公共交通活性化協議会の運営、地域公共交通計画の進行管理、デマンド型乗合交通の運行、定額タクシーの実証運行								
評価・改善点等		那須町地域公共交通活性化協議会を2回開催し、「那須町地域公共交通計画」の進捗管理及び計画目標達成に向けた検討を行った。協議会では毎回、活発な意見が交わされ、前向きな検討が行われている。 また、10月から黒田原駅周辺エリアを対象に、定額タクシーの実証運行を開始し、公共交通の選択肢の拡充を図った。なお、定額タクシーの利用者の7割強が、デマンド型乗合交通を利用したことがない町民であり、新たな公共交通利用者の獲得につながった。 デマンド型乗合交通においては、定額タクシーの実証運行と併せて、目的地側停留所の増設を行うとともに、運行車両を大型化することにより、利用者の利便性向上及び利用者数の増加を図る対策を実施している。 定額タクシー、デマンド型乗合交通ともに他の公共交通と連携・補完をしあいながら、事業の継続を図っていくことと併せて、自動運転やライドシェア、公共交通のDX化など新たな制度に対する検討も並行して行っていく必要がある。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	02-01-12-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
町民バス運行費		前年度	26,171,000	▲ 500,000	0	0	25,671,000	25,066,398	604,602	97.64
		当該年度	36,077,000	▲ 4,527,000	0	0	31,550,000	28,716,959	2,833,041	91.02
事業概要		町民バス2路線（湯本線、追分・黒磯駅線）の運行								
評価・改善点等		「那須町バスブック」の全戸配布や小学生低学年を対象としたバスの乗り方教室を実施するなどして、町民バスについての周知を図ったが、利用者数は前年度と比較して横ばいとなっている。 利用者数の増加を図るため、JRや民間路線バス等のダイヤとの調整、那須塩原市・大田原市との接続性向上、相互乗り入れなど、利便性向上に向けての検討を引き続き行っていく必要がある。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	02-01-12-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
民間バス路線維持費	前年度	8,800,000	4,496,000	0	0	13,296,000	10,998,695	2,297,305	82.72
	当該年度	10,000,000	0	0	0	10,000,000	9,160,889	839,111	91.61
事業概要	民間路線バスの運行支援(運行費補助)								
評価・改善点等	那須線は、主に観光客の利用、伊王野線は、町民の通学・買い物・通院等に必要な路線として、運行費補助による事業の継続が必要である。 今後の補助路線のあり方については、利用者のニーズ、利用者数の推移などを的確に判断しながら、他の公共交通サービスを含めた町全体の公共交通ネットワークの中で、どうあるべきか検討を進めていく。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-02-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
ワークベース那須管理費	前年度	4,783,000	2,453,000	▲ 215,000	0	7,021,000	6,180,012	840,988	88.02
	当該年度	4,214,000	824,000	1,260,000	0	6,298,000	5,959,750	338,250	94.63
事業概要	ワークベース那須の管理運営								
評価・改善点等	起業支援やテレワーク等の新たな働き方の推進を図るため開設した施設で、令和5年度は開設時間を8時半から18時まで延長時間、個室利用の開始など施設及びサービスの強化を実施し1404人の利用があった。開設から3年が経過することから町民有料化の検討が必要となる。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	08-05-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
町営住宅管理費	前年度	25,060,000	▲ 110,000	968,000	0	25,918,000	25,135,251	782,749	96.98
	当該年度	8,599,000	5,036,000	931,000	220,000	14,786,000	14,476,636	309,364	97.91
事業概要	町営住宅の維持管理(上の原第3団地・高久団地・黒田団地・芦野団地・前原団地・湯本団地・新黒田住宅 計206戸)※ 入居率 85.44%								
評価・改善点等	昭和40年代に建築された木造の住宅については、家賃が低廉なこと、単身入居が可能となることから入居率が90%を超えている。しかしながら老朽化が著しく多額の修繕費を要することから今後建替えや集約、用途廃止を含めた検討が必要となっている。また、RC造の住宅についても長寿命化計画に基づいた改修等を実施していく。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	08-05-01-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
定住促進住宅管理費	前年度	21,299,000	500,000	0	0	21,799,000	20,049,936	1,749,064	91.98
	当該年度	24,132,000	0	▲ 426,000	0	23,706,000	22,991,556	714,444	96.99
事業概要	定住促進住宅の維持管理(あたごハイツ・リビナス・ウイングヴィーナス 計106戸) ※入居率 88.68%								
評価・改善点等	昭和56年度に建築されたあたごハイツについては、老朽化が進行しており、今後外壁・外部床防水改修工事など、長寿命化計画に基づき計画的に改修工事を実施していく。また、PFIの手法による地域優良賃貸住宅の建設を進める。								翌年度の 方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	08-05-01-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
町営宅地分譲地管理費	前年度	0	0	0	0	0	0	1,749,064	91.98
	当該年度	5,161,000	0	0	0	5,161,000	5,046,176	114,824	97.78
事業概要	グリーンハイツ田中分譲地の維持管理								
評価・改善点等	令和4年度に完売となっているが、維持管理は町が実施している。分譲地内に町管理の住宅が5棟あり、廃止の方向ではあるが、令和18年頃までは管理が必要となる。								翌年度の 方向性
									廃止 (統合)

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	08-05-02-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
ふるさと定住対策費	前年度	27,368,000	4,200,000	23,000	0	31,591,000	25,463,167	6,127,833	80.60
	当該年度	29,595,000	2,917,000	144,000	0	32,656,000	31,789,418	866,582	97.35
事業概要	空き家対策、空き家調査ドローン活用、特定空き家等解体費補助、移住定住対策、移住定住支援コーディネーター、移住定住促進住宅取得等補助金、移住支援金								
評価・改善点等	空き家対策を推進するため、水道使用量を基に空き家の洗い出しを行い、ドローンを活用した空き家調査の実証実験を実施した。 移住定住対策については、消滅可能性都市からの脱却もあり移住者が増加傾向にあるが、民間の賃貸住宅がほとんどないことから、空き家等の利活用など、定住につながるよう事業を推進していく。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	08-05-02-02		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
地域おこし協力隊費	前年度	29,856,000	▲ 14,373,000	0	0	15,483,000	8,481,922	7,001,078	54.78	
	当該年度	34,390,000	▲ 16,934,000	▲ 144,000	0	17,312,000	16,932,720	379,280	97.81	
事業概要	地域おこし協力隊募集、おためし地域おこし協力隊ツアー、地域おこし協力隊業務委託、地域おこし協力隊活動支援									
評価・改善点等	地域おこし協力隊は都市部から移住し、それぞれのミッションに関する地域活動を行っているが、活動にあたり不安を抱える隊員もいることから、活動サポート業務を民間委託し、相談しやすい環境を作った。協力隊任期終了後に地域へ定着・定住できるような取組も推進していく。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	08-05-02-03		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
住宅建設資金利子補給費	前年度	737,000	0	0	0	737,000	492,796	244,204	66.87	
	当該年度	301,000	0	0	0	301,000	157,016	143,984	52.16	
事業概要	住宅資金の貸付利子の一部補助									
評価・改善点等	事業意義が薄れてきており廃止とした。(継続分のみ支払いあり)									翌年度の 方向性
										廃止 (統合)

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	08-05-02-04		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
住宅耐震化促進費	前年度	20,808,000	▲ 1,252,000	0	34,089,000	53,645,000	43,173,000	10,472,000	80.48	
	当該年度	2,253,000	▲ 844,000	0	0	1,409,000	103,904	1,305,096	7.37	
事業概要	大規模盛土造成地(町内6か所)のモニタリング調査の実施及び昭和56年5月31日以前の耐震基準により建築された木造住宅の耐震対策への補助									
評価・改善点等	住宅耐震化を推進するため、ローラー作戦と称した個別訪問を行っているが、なかなか補助金申請の増加には至っていない。耐震基準を満たしていない住宅への周知を強化し、事業を推進していく。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	ふるさと定住課	款項目事業	08-05-02-05		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
リビングシフト推進費		前年度	18,153,000	215,000	0	0	18,368,000	15,161,223	3,206,777	82.54
		当該年度	60,180,000	▲ 15,210,000	0	0	44,970,000	39,881,587	5,088,413	88.68
事業概要		サテライトオフィス誘致、お試しサテライトオフィス運営、地域力創造アドバイザー(1人)、地域活性化起業人3人)、リビングシフト推進交付金(1件)								
評価・改善点等		地域活性化起業人については、空き家対策や関係人口創出、二地域居住の推進など今後も制度を有効に活用していく。また、二地域居住等の促進については、二地域居住促進法が成立し、東京一極集中の是正や、将来的な移住定住、サテライトオフィスなどの企業誘致につなげるため、更なる推進を図っていく。								
		翌年度の方向性 拡充								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	05-01-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
雇用対策費	前年度	792,000	0	0	0	792,000	501,712	290,288	63.35
	当該年度	792,000	0	0	0	792,000	495,656	296,344	62.58
事業概要	中小企業退職金共済制度への加入促進支援								
評価・改善点等	原材料費高騰や人材不足など依然として厳しい経営が続く中小企業で、勤労者の福祉向上と雇用の安定を図るための支援となっている。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-02-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
商工業振興促進費	前年度	25,614,000	14,129,000	81,000	0	39,824,000	34,280,489	5,543,511	86.08
	当該年度	25,064,000	11,130,000	220,000	0	36,414,000	32,837,570	3,576,430	90.18
事業概要	黒磯那須公設地方卸売市場の運営負担、那須町商工会支援など商工業に対する振興促進、陸砂利採石監視員による採石場等の監視、計量器の定期検査や商品量目立入検査の実施								
評価・改善点等	物価高騰など社会情勢に応じて町内の中小・小規模事業者の支援を行い、商工業活動の安定と活性化を図った。町内経済の更なる発展のため、空き店舗活用や創業・事業承継などに対する支援が必要。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-02-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
中小企業金融対策費	前年度	316,489,000	10,000,000	437,000	0	326,926,000	326,911,434	14,566	100.00
	当該年度	296,073,000	400,000	0	0	296,473,000	287,716,748	8,756,252	97.05
事業概要	中小企業振興資金(運転資金・設備資金)の融資預託金、信用保証料の補助、利子補給、町融資振興会の運営								
評価・改善点等	町内の中小企業者が、融資を受けやすく、融資の際の負担軽減につながっている。町内地域経済の活性化を図るため、町融資制度の見直しや創業に対する支援の検討が必要。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-02-04	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
地域応援商品券事業費	前年度	0	148,426,000	0	0	148,426,000	141,562,560	6,863,440	95.38
	当該年度	0	128,148,000	0	0	128,148,000	122,538,195	5,609,805	95.62
事業概要	町民の生活応援・消費意欲促進を図るとともに、町内事業者への支援や地域経済の活性化を目的とし、全町民に対して1人あたり5,000円の商品券を発行								
評価・改善点等	物価高騰における地域経済の回復と町民の生活応援・消費意欲の喚起につながった。								翌年度の 方向性
									廃止

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-03-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
観光事業推進費	前年度	82,648,000	8,500,000	257,000	0	91,405,000	90,564,838	840,162	99.08
	当該年度	98,895,000	14,205,000	0	0	113,100,000	112,208,272	891,728	99.21
事業概要	観光誘客対策、観光関係団体支援								
評価・改善点等	令和4年度と比較すると順調に入込客数は増加している。しかし、目標としては、消費単価を上げ、域内消費額の上昇を掲げており、今後は、様々なデータに基づいた方針・戦略が必要である。そのために観光協会がDMOとなり、旗振り役となって事業を展開していく必要がある。 国外誘客においては、全国11箇所のインバウンドモデル地域に採択され、新たな魅力発見事業を行って、富裕層の獲得に尽力している。								翌年度の 方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-03-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
観光施設管理費	前年度	42,318,000	11,967,000	▲ 2,243,000	0	52,042,000	49,557,742	2,484,258	95.23
	当該年度	15,168,000	22,585,000	344,000	0	38,097,000	36,965,121	1,131,879	97.03
事業概要	湯本地区公衆トイレの管理、登山道、足湯及び那須街道あじさいの管理								
評価・改善点等	各観光施設の適正な維持管理を行った。湯本地区公衆トイレについては、老朽化に伴う修繕料が嵩んでいるため、令和7年度以降も公共施設総合管理計画に基づき、公衆トイレの統廃合を進める。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-04-01		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
友愛の森管理運営費	前年度	45,933,000	5,212,000	625,000	0	51,770,000	51,510,350	259,650	99.50	
	当該年度	43,998,000	0	6,496,000	0	50,494,000	45,445,885	230,115	90.00	
事業概要	道の駅那須高原友愛の森の管理運営									
評価・改善点等	販売額が前年比108.9%、入込み数が前年比109%に増加したが、コロナ前の水準までは戻っていない。令和7年度以降、道の駅再整備事業に基づく直売所及びレストランのオープンに合わせて、委託団体による管理運営の効率化を図っていく。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-04-02		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
遊行庵管理費	前年度	1,654,000	4,235,000	144,000	0	6,033,000	5,622,326	410,674	93.19	
	当該年度	1,727,000	3,828,000	0	0	5,555,000	5,422,751	132,249	97.62	
事業概要	遊行庵休憩所の管理運営									
評価・改善点等	令和5年度は駐車場整備工事を行った。利用者数が前年度並みであったが、駐車場整備により大型バスの乗り入れも可能となった。令和7年度以降も遊行庵交流拠点化基本計画に基づき、さらなる利用者数の増加を図る。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-04-03		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
公園管理費	前年度	2,036,000	0	0	0	2,036,000	2,009,878	26,122	98.72	
	当該年度	2,050,000	44,000	0	0	2,094,000	1,985,893	108,107	94.84	
事業概要	伊王野城山公園、芦野御殿山公園等の管理									
評価・改善点等	地元関係団体と連携し公園の適正な維持管理を行った。今後も継続して住民に親しまれる公園の管理を行っていく。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-04-04		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
地域ふるさとまつり費	前年度	4,100,000	▲ 1,150,000	0	0	2,950,000	2,361,836	588,164	80.06	
	当該年度	12,800,000	0	26,000	0	12,826,000	12,725,520	100,480	99.22	
事業概要	各地域の伝統行事であるお祭りに対する支援									
評価・改善点等	地域文化を伝承し、観光誘客を通じた賑わい創出や交流人口の増加を図ることができた。まつりを通して地域経済の活性化にもつながり、地域が一体となった取組みに対し引き続き支援する必要がある。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-04-05		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
東山道伊王野管理運営費	前年度	16,659,000	722,000	1,972,000	0	19,353,000	18,916,869	436,131	97.75	
	当該年度	50,589,000	2,292,000	172,000	0	53,053,000	50,172,960	2,880,040	94.57	
事業概要	道の駅東山道伊王野の管理運営									
評価・改善点等	販売額が前年比100%、入込み数が前年比102%に増加し、ほぼコロナ前の水準まで回復している。引き続き、利用者と地元との交流拠点として地域振興の強化を図る。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-05-01		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
いこいの家管理運営費	前年度	17,691,000	2,233,000	1,141,000	0	21,065,000	20,560,052	504,948	97.60	
	当該年度	18,421,000	▲ 800,000	▲ 460,000	0	17,161,000	16,372,713	788,287	95.41	
事業概要	那須いこいの家の管理運営									
評価・改善点等	本年度は温泉水の濁りと温度の低下等により12月から臨時休館したため、利用者が前年度比77%と減少した。温泉水の状況が改善せず、施設の老朽化により修繕費用が嵩んでいるため施設の廃止に向けて進めていく。									翌年度の 方向性
										廃止 (統合)

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-06-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
消費者行政活性化費		前年度	210,000	0	50,000	0	260,000	155,734	104,266	59.90
		当該年度	508,000	0	0	0	508,000	336,690	171,310	66.28
事業概要		消費生活センターの運営、特殊詐欺対策電話機購入に対する補助								
評価・改善点等		悪徳商法による被害など消費生活上のトラブルに関する身近な相談窓口として、町民の安全安心な生活に寄与している。新手の詐欺も増加しており、相談員の研修や被害未然防止のための啓発など、引き続き消費者行政の充実・強化に取り組む必要がある。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	観光商工課	款項目事業	07-01-07-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
友愛の森整備費		前年度	132,187,000	14,545,000	0	14,750,000	161,482,000	152,951,006	670,994	94.72
		当該年度	509,264,000	3,583,000	▲ 4,840,000	7,860,000	515,900,000	426,359,341	31,364,659	82.64
事業概要		道の駅那須高原友愛の森の再整備事業								
評価・改善点等		令和5年度は直売所新築工事が完了した。令和7年度以降、外構工事を実施し、道の駅の整備を継続していく。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	会計課	款項目事業	02-01-04-01		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
会計管理費		前年度	1,914,000	0	47,000	0	1,961,000	1,780,394	180,606	90.79	
		当該年度	2,246,000	0	0	0	2,246,000	1,820,187	425,813	81.04	
事業概要		現金の出納及び保管、基金の出納及び保管、小切手の振り出し、物品(事務用消耗品等)の出納及び保管、決算の調製、指定金融機関等との連絡調整、収入印紙及び収入証紙の販売									
評価・改善点等		支出の約8割は、公金の収納・支払に関する業務に係る手数料であるが、指定代理金融機関等における公金収納取扱件数については、口座振替の推奨、固定資産税及び軽自動車税の地方税統一QRコード納付の導入等により、令和4年度と比較して5,063件削減することができた。地方税統一QRコード納付については、令和6年度から町県民税及び国民健康保険税が追加されたため、更なる収納件数の削減が見込めるものと思われる。令和6年10月からは指定金融機関である足利銀行の公金窓口収納及び振込についても手数料が有償化されるので、今後も口座振替、地方税統一QRコード納付の推奨、振込手数料のかからない足利銀行口座への振込、納付書払から口座振込への切替など、公金収納・支払の両方において、手数料削減や足利銀行の事務負担軽減に向けた取組を行っていく必要がある。									翌年度の 方向性
		依頼人名細分化手数料は、町から債権者に公金の振込をする際、相手方の通帳に担当課名を記入する手数料である。振込件数はその年度の事業内容によっても異なるが、同一債権者の請求書のまとめ払いの推奨等により、令和4年度と比較して1,127件削減することができた。									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	上下水道課	款項目事業	04-01-03-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
浄化槽設置整備費		前年度	23,789,000	0	0	0	23,789,000	22,345,960	1,443,040	93.93
		当該年度	22,331,000	0	0	0	22,331,000	21,981,942	349,058	98.44
事業概要		合併処理浄化槽設置整備への補助								
評価・改善点等		令和5年度は制度の拡充を行ったため、件数及び事業費ともに増加した。令和6年度はくみ取り便槽の撤去費や宅内配管設置費も追加する等、更なる制度の充実を行った。引き続き、水質保全推進のため、事業を継続して実施していく。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	上下水道課	款項目事業	04-01-03-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
水道事業会計繰出金		前年度	39,180,000	▲ 1,443,000	0	0	37,737,000	37,413,243	323,757	99.14
		当該年度	38,139,000	1,454,000	0	0	39,593,000	39,591,904	1,096	100.00
事業概要		公営企業繰出基準等に基づく消火栓設置に係る費用及び統合前の簡易水道事業に係る企業債の元利償還金等の繰出、配水管整備事業に係る企業債の元利償還金の繰出								
評価・改善点等		管路の拡充や消火栓の設置及び更新を行うことができた。 公営企業繰出基準に基づき適正な繰出金の支払い管理を行う。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	上下水道課	款項目事業	04-01-03-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
生活給水施設費		前年度	3,000,000	0	0	0	3,000,000	1,000,000	2,000,000	33.33
		当該年度	1,576,000	0	0	0	1,576,000	1,546,023	29,977	98.10
事業概要		水道未普及区域での飲料水等の確保に必要な給水施設整備への補助								
評価・改善点等		町営水道等の給水区域外の町民が日常生活に必要な飲料水等を確保することができている。依然、一定の需要があることから、今後の利用状況を見ながら、引き続き事業を継続していく。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	上下水道課	款項目事業	08-04-03-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
下水道事業特別会計繰出金		前年度	201,754,000	▲ 6,484,000	0	0	195,270,000	194,737,933	532,067	99.73
		当該年度	193,067,000	▲ 15,526,000	0	0	177,541,000	177,541,000	0	100.00
事業概要		下水道事業の企業債の償還等不足分の補填								
評価・改善点等		湯本浄化センターの長寿命化・耐震化工事及び黒田原水処理センターの長寿命化工事や、下水道管路延伸工事を行うことができた。今後は、公営企業会計での運営において、更なる経営健全化を図る必要がある。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	上下水道課	款項目事業	08-04-03-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
地域下水処理施設費		前年度	6,700,000	632,000	0	0	7,332,000	7,036,361	295,639	95.97
		当該年度	7,055,000	0	0	0	7,055,000	6,491,297	563,703	92.01
事業概要		地域下水処理施設の維持管理及び使用料徴収に関する事務								
評価・改善点等		保守点検業務により町内3ヶ所の地域下水処理施設を適正に管理することができた。なお、運用開始から一度も施設を更新していない田中地域下水とよささ地域下水については、施設の長寿命化対策を含めた適切な維持管理業務を実施していく必要がある。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-01-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
教育委員会費	前年度	1,190,000	0	0	0	1,190,000	1,120,990	69,010	94.20
	当該年度	1,215,000	0	0	0	1,215,000	1,214,100	900	99.93
事業概要	教育委員の報酬、費用弁償、教育委員会の運営								
評価・改善点等	年に6回の教育委員会定例会と町長と教育委員会で協議・調整を行うための総合教育会議を3回開催し、本町の教育行政の安定性と中立性が確保されている。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-01-02-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
教育委員会事務局費	前年度	6,849,000	600,000	0	0	7,449,000	6,658,244	790,756	89.38
	当該年度	6,745,000	600,000	62,000	0	7,407,000	6,525,654	881,346	88.10
事業概要	教育委員会事務局の運営								
評価・改善点等	教育に関する専門家による研修会を開催することにより、教職員の指導力の向上が図られているが、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、学校教育も大きく変化する必要もあることから、更なる研修や視察等を行う必要がある。 また、各種負担金の支出や給食公会計システムの導入等により、教職員の働き方改革も図られている。 育英資金については、経済的理由により修学できない子どもの進学しやすい環境を整えていく。								翌年度の 方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-01-03-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
教育相談室運営費	前年度	1,306,000	955,000	0	0	2,261,000	1,934,342	326,658	85.55
	当該年度	1,161,000	80,000	0	0	1,241,000	970,180	270,820	78.18
事業概要	教育相談室の運営								
評価・改善点等	教育相談室は、教育支援室として不登校児童生徒指導や学校生活への復帰を支援している。 子ども一人一人に丁寧に寄り添った支援が必要であるため、相談員が学校や保護者、スクールソーシャルワーカー、作業療法士などと連携している。不登校児童生徒数が増加傾向にあるため、相談員の増員についても検討する必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-01-03-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
ICT教育推進費	前年度	68,068,000	5,011,000	0	0	73,079,000	72,011,430	1,067,570	98.54
	当該年度	64,092,000	▲ 2,375,000	0	0	61,717,000	61,499,855	217,145	99.65
事業概要	ICT教育環境の整備と充実								
評価・改善点等	ICTの専門知識を有する人材を雇用することにより、教職員のICT活用能力の向上のための授業支援やサポート体制を強化することができた。また、オンライン学習ソフト、デジタル教科書や電子黒板を活用したことにより児童生徒の学習意欲向上や教職員の指導の効率化を図ることができた。 GIGA第1期に整備したタブレット端末の更新時期を迎えるため、第2期(R6～10年度)において、国が示す補助要件や端末の最低スペック基準を満たす本町に最適な端末を導入する手続きを進める必要がある。								翌年度の 方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-01-03-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
スクールバス運行費	前年度	185,727,000	0	738,000	0	186,465,000	182,507,773	3,957,227	97.88
	当該年度	186,668,000	4,100,000	0	0	190,768,000	187,711,997	3,056,003	98.40
事業概要	スクールバスの運行管理								
評価・改善点等	児童327人、生徒193人が利用し、児童生徒が安心して通学できる環境を整えることができた。また、バス車内に置き取り防止装置を整備したことで、児童生徒のさらなる安全確保ができた。 利用者の理解を得て運行経路の見直しができた。(R6年度から4台削減) 今後は、車両の老朽化により修繕費用が増大しているため、計画的な車両の入替えが必要である。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-02-01-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
小学校管理費	前年度	58,184,000	38,148,000	5,256,000	3,808,000	105,396,000	95,077,630	10,318,370	90.21
	当該年度	109,143,000	23,154,000	4,738,000	2,700,000	139,735,000	116,372,326	23,362,674	83.28
事業概要	小学校施設の管理運営								
評価・改善点等	学校施設では校舎トイレの洋式化率は100%であるが、災害時の避難所に指定されている体育館のトイレは洋式化ではないため、早急に改修を検討する必要がある。また、エアコン整備は普通教室は100%であるが、特別教室への設置率が37%であるため、使用状況を確認の上、整備を検討する必要がある。 子どもの出生数が減少している中、学校施設の95%が建築後30年以上を経過しており、改修を必要とする時期を迎えている。将来を見据えた学校の在り方検討委員会において小学校施設の検討を行い、計画的な改修を実施する必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-02-02-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
小学校給食費	前年度	104,173,000	1,035,000	311,000	0	105,519,000	105,316,465	202,535	99.81
	当該年度	105,191,000	149,000	0	0	105,340,000	104,681,092	658,908	99.37
事業概要	学校給食の提供								
評価・改善点等	児童生徒が健康で健全な食生活を営むことができるよう、安全・安心な学校給食を提供することができた。更には、学校給食費支援事業費負担金により給食費の支援をすることで保護者の負担軽減を図ることができた。 長引く物価高騰により賄材料費が増大しているため、給食費の見直しをする必要がある。また、給食施設については、将来を見据えた学校の在り方検討委員会において検討を行い、計画的な改修を実施する必要がある。また、調理機材のメンテナンスや更新についても計画的に行う必要がある。								翌年度の方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-03-01-03	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
中学校管理費	前年度	37,603,000	21,467,000	1,296,000	1,672,000	62,038,000	56,214,486	5,823,514	90.61
	当該年度	47,865,000	1,145,000	2,383,000	900,000	52,293,000	44,506,782	7,786,218	85.11
事業概要	中学校施設の管理運営								
評価・改善点等	学校施設では校舎トイレの洋式化率は100%であるが、災害時の避難所に指定されている体育館のトイレは洋式化ではないため、早急に改修を検討する必要がある。また、エアコン整備は普通教室は100%であるが、特別教室への設置率が37%であるため、使用状況を確認の上、整備を検討する必要がある。 子どもの出生数が減少している中、学校施設の95%が建築後30年以上を経過しており、改修を必要とする時期を迎えている。将来を見据えた学校の在り方検討委員会において小学校施設の検討を行い、計画的な改修を実施する必要がある。								翌年度の方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-03-01-06	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
中学生派遣費	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	当該年度	1,640,000	0	0	0	1,640,000	1,490,580	149,420	90.89
事業概要	広島平和記念式典への中学生派遣								
評価・改善点等	自然豊かな歴史ある那須町を愛し、平和な世界の実現に向け、平和の尊さ、戦争や核兵器の恐ろしさを認識してもらうことを目的として、町の将来を担う中学生を広島平和記念式典へ派遣している。(県内では10市町が実施している。) この事業では、派遣のみならず4回にわたる戦争と平和に関する事前研修で学び、那須町戦没者慰霊追悼式への参加や活動報告会、各学校での報告会により平和の大切さを伝えていくものである。								翌年度の方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-03-02-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
中学校給食費	前年度	44,514,000	0	948,000	0	45,462,000	45,102,551	359,449	99.21
	当該年度	44,657,000	60,000	0	0	44,717,000	44,348,471	368,529	99.18
事業概要	学校給食の提供								
評価・改善点等	児童生徒が健康で健全な食生活を営むことができるよう、安全・安心な学校給食を提供することができた。更には、学校給食費支援事業費負担金により給食費の支援をすることで保護者の負担軽減を図ることができた。 長引く物価高騰により賄材料費が増大しているため、給食費の見直しをする必要がある。また、給食施設については、将来を見据えた学校の在り方検討委員会において検討を行い、計画的な改修を実施する必要がある。また、調理機材のメンテナンスや更新についても計画的に行う必要がある。								翌年度の 方向性
									拡充

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-02-01-04	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
東陽小学校費	前年度	11,032,000	1,828,000	288,000	0	13,148,000	12,120,847	1,027,153	92.19
	当該年度	11,400,000	1,472,000	52,000	450,000	13,374,000	12,747,486	626,514	95.32
事業概要	学校運営・教材等整備・給食賄材料費								
評価・改善点等	学校備品の老朽化により計画的な更新が必要である。また、物価高騰により必要経費も増大している。 特色ある学校運営の充実を図るため学校裁量予算の配分の検討も必要である。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-02-01-05	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
学びの森小学校費	前年度	8,694,000	1,809,000	93,000	0	10,596,000	9,497,123	1,098,877	89.63
	当該年度	8,561,000	420,000	0	450,000	9,431,000	9,027,806	403,194	95.72
事業概要	学校運営・教材等整備・給食賄材料費								
評価・改善点等	学校備品の老朽化により計画的な更新が必要である。また、物価高騰により必要経費も増大している。 特色ある学校運営の充実を図るため学校裁量予算の配分の検討も必要である。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-02-01-06		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
高久小学校費		前年度	9,598,000	1,725,000	216,000	0	11,539,000	10,859,722	679,278	94.11
		当該年度	9,052,000	1,286,000	0	450,000	10,788,000	10,352,097	435,903	95.96
事業概要		学校運営・教材等整備・給食賄材料費								
評価・改善点等		学校備品の老朽化により計画的な更新が必要である。また、物価高騰により必要経費も増大している。 特色ある学校運営の充実を図るため学校裁量予算の配分の検討も必要である。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-02-01-07		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
田代友愛小学校費		前年度	12,665,000	2,019,000	0	0	14,684,000	13,206,953	1,477,047	89.94
		当該年度	13,717,000	1,045,000	0	450,000	15,212,000	14,182,490	1,029,510	93.23
事業概要		学校運営・教材等整備・給食賄材料費								
評価・改善点等		学校備品の老朽化により計画的な更新が必要である。また、物価高騰により必要経費も増大している。特色ある学校運営の充実を図るため学校裁量予算の配分の検討も必要である。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-02-01-08		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
那須高原小学校費		前年度	10,336,000	2,318,000	127,000	0	12,781,000	11,263,163	1,517,837	88.12
		当該年度	10,204,000	1,104,000	0	450,000	11,758,000	11,096,890	661,110	94.38
事業概要		学校運営・教材等整備・給食賄材料費								
評価・改善点等		学校備品の老朽化により計画的な更新が必要である。また、物価高騰により必要経費も増大している。 特色ある学校運営の充実を図るため学校裁量予算の配分の検討も必要である。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-02-01-09		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
黒田原小学校費		前年度	20,914,000	2,661,000	302,000	0	23,877,000	23,083,541	793,459	96.68	
		当該年度	20,345,000	1,545,000	0	450,000	22,340,000	21,951,893	388,107	98.26	
事業概要		学校運営・教材等整備・給食賄材料費									
評価・改善点等		学校備品の老朽化により計画的な更新が必要である。また、物価高騰により必要経費も増大している。 特色ある学校運営の充実を図るため学校裁量予算の配分の検討も必要である。									翌年度の 方向性
											維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-03-01-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
那須中学校費		前年度	18,526,000	2,125,000	0	0	20,651,000	19,665,699	985,301	95.23
		当該年度	16,334,000	2,258,000	0	450,000	19,042,000	18,575,122	466,878	97.55
事業概要		学校運営・教材等整備・給食賄材料費								
評価・改善点等		学校備品の老朽化により計画的な更新が必要である。また、物価高騰により必要経費も増大している。 特色ある学校運営の充実を図るため学校裁量予算の配分の検討も必要である。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	学校教育課	款項目事業	10-03-01-05		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
那須中央中学校費		前年度	24,779,000	2,465,000	605,000	0	27,849,000	26,548,063	1,300,937	95.33
		当該年度	25,386,000	1,747,000	0	450,000	27,583,000	26,632,395	950,605	96.55
事業概要		学校運営・教材等整備・給食賄材料費								
評価・改善点等		学校備品の老朽化により計画的な更新が必要である。また、物価高騰により必要経費も増大している。特色ある学校運営の充実を図るため学校裁量予算の配分の検討も必要である。								
		翌年度の方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	08-04-04-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
中央運動公園管理費		前年度	7,697,000	2,140,000	0	0	9,837,000	9,457,644	379,356	96.14
		当該年度	9,269,000	0	709,000	0	9,978,000	9,912,180	65,820	99.34
事業概要		中央運動公園の管理、施設貸出								
評価・改善点等		施設整備後、約40年経過しており、施設・設備の老朽化が進んでいる。また、夜間照明施設の更新(LED化)や駐車場不足等の課題がある。総合運動公園整備計画については、財政面等を考慮しすぐに着手が困難なため、現状施設等の維持管理及び更新を行っていく必要がある。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	08-04-04-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
スイミングドーム管理運営費		前年度	61,211,000	8,752,000	1,816,000	0	71,779,000	71,077,821	701,179	99.02
		当該年度	66,731,000	11,402,000	450,000	0	78,583,000	77,295,663	1,287,337	98.36
事業概要		スイミングドームの管理運営								
評価・改善点等		指定管理者制度を導入し、管理運営を行っているが、施設の老朽化が進み、設備等の改修を毎年実施している。また、小学校プール老朽化に伴い、スイミングドームを利用したプール授業も増加しており、利用者数もコロナ禍前に戻りつつあることから、施設の長寿命化を図りながら管理運営をしていく必要がある。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-01-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
生涯学習振興費		前年度	7,829,000	551,000	62,000	0	8,442,000	7,240,925	1,201,075	85.77
		当該年度	9,932,000	822,000	6,000	0	10,760,000	9,817,463	942,537	91.24
事業概要		各種生涯学習講座の開催、コミュニティ・スクール事業、家庭教育支援事業、放課後子ども教室(アナザースクール)、はたちのつどいの開催、自治公民館等施設整備費補助金								
評価・改善点等		親子や親及び子どもの講座など各種事業を展開することにより、スキル磨きと学ぶことが同時にできており、地域教育コーディネーターや学校運営協議会委員により、学校と子ども達を繋ぐ役割を持った方に支えられ、子ども達に特色のある事業を進めることもできている。はたちのつどいは、実行委員と綿密に打合せを行い、式典参加者が楽しめる事業を行うことができています。自治公民館等施設整備費補助金については、要望のあったとおり交付している。課題としては、事業が多いので要望の精査が必要である。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-01-04		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
女性青少年費	前年度	961,000	0	0	0	961,000	616,043	344,957	64.10	
	当該年度	844,000	660,000	0	0	1,504,000	1,193,026	310,974	79.32	
事業概要	青少年育成事業、結婚支援事業、男女協同参画事業									
評価・改善点等	ジュニアリーダースクラブや女性団体連絡協議会の会員が、新型コロナ5類移行に伴い、積極的に事業に参加して活動することができている。また、結婚支援事業については、とちぎ結婚支援センターに登録した町民に助成を行っているので助成金のPRを行ったほか、西郷村との共催による婚活事業を行い、2組の交際が確認ができた。引き続き出会いの場を提供の支援と検証が必要である。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-01-05		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
那須田中複合施設管理費	前年度	7,473,000	7,256,000	0	0	14,729,000	12,585,333	2,143,667	85.45	
	当該年度	8,111,000	0	0	0	8,111,000	7,532,443	578,557	92.87	
事業概要	田中複合施設の管理、施設借用									
評価・改善点等	平成30年度に開館し、子育て支援、体育支援、高齢者活動支援、地域コミュニティ活動支援、中小企業等支援で構成される複合施設であり、土地改良区事務所、教育相談室としても利用もされている。昭和57年に建設された校舎等を利用していることから、老朽化による設備修繕等の懸念がある。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-02-01		単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
那須公民館費	前年度	4,690,000	0	0	0	4,690,000	3,998,081	691,919	85.25	
	当該年度	5,095,000	0	0	0	5,095,000	4,452,780	642,220	87.40	
事業概要	各種学級及び教室の開催、文化・体育事業の実施、スポーツ大会の開催、小・中学校との連携、自治公民館活動支援交付金									
評価・改善点等	学級・教室については参加者の固定化・高齢化しており、新しい視点での講座を企画していく。また、子育て世代や若年層、働き世代への働きかけなど町全体として検討していくことが必要である。 新型コロナウイルス感染症により中止していた文化・体育事業が、令和5年度については実施することが出来たが、参加可能な自治公民館の減少等課題が顕著であるため、自治公民館の意見を取り入れ、実状にあわせた事業への変更を随時行っていく。									翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-02-02		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
芦野公民館費		前年度	3,165,000	0	0	0	3,165,000	2,647,118	517,882	83.64	
		当該年度	3,301,000	▲ 250,000	0	0	3,051,000	2,903,019	147,981	95.15	
事業概要		各種学級及び教室の開催、文化・体育事業の実施、スポーツ大会の開催、小・中学校との連携、自治公民館活動支援交付金									
評価・改善点等		学級・教室については、参加者の固定化、固定化が進んでいる。現在の活動を維持しつつ、新たな視点での講座を企画し、若年層や働く世代への働きかけなど町全体として検討していくことが必要である。									翌年度の 方向性
		新型コロナウイルス感染症により中止していた体育事業については、参加要件の緩和や種目内容の変更を行い実施することが出来たが、参加可能な自治公民館の減少等課題が顕著である。今後も自治公民館の意見を取り入れ、実状にあわせた事業への変更を随時行っていく。									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-02-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
伊王野公民館費		前年度	3,375,000	0	45,000	0	3,375,000	2,762,628	612,372	81.86
		当該年度	3,387,000	0	25,000	0	3,387,000	3,080,201	306,799	90.94
事業概要		各種学級及び教室の開催、文化・体育事業の実施、スポーツ大会の開催、小・中学校との連携、自治公民館活動支援交付金								
評価・改善点等		学級・教室については参加者の固定化・高齢化しており、新しい視点での講座を企画していく。また、若年層や働く世代への働きかけなど町全体として検討していくことが必要である。 体育事業については、令和2年度から令和4年度について全く実施できていない状況が続いたため、令和5年度については事業の中止・内容変更を行い実施することが出来た。今後も自治公民館の意見を取り入れ現状にあわせた事業への検討を随時行っていく。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-02-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
高原公民館費		前年度	5,465,000	0	0	0	5,465,000	4,965,931	499,069	90.87
		当該年度	4,372,000	1,889,000	0	0	6,261,000	5,325,203	935,797	85.05
事業概要		公民館の管理運営、各種学級及び教室の開催、スポーツ大会及び文化祭の開催、小中学校との連携、自治公民館運営支援交付金								
評価・改善点等		学級・教室については参加者の固定化・高齢化が進んでいるため、新しい視点での講座を企画していく。また、若年層や働く世代への働きかけなど町全体として検討していくことが必要である。 体育事業については参加者が減少傾向にあるため、公民館対抗での実施や競技種目について、今後も各自治公民館の意見を取り入れ、現状にあわせた事業への検討を行う必要がある。 施設の老朽化により、施設の維持管理も必要である。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-03-01		単位	円、%	
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率	
文化振興費		前年度	1,259,000	0	70,000	0	1,329,000	1,315,324	13,676	98.97	
		当該年度	1,102,000	0	6,000	0	1,108,000	1,067,493	40,507	96.34	
事業概要		文化芸術活動での全国大会等出場への支援、那須町文化協会等文化芸術活動への支援									
評価・改善点等		文化芸術の分野で活躍され全国大会等(高等学校の合唱など)へ出場される方に対して奨励費を交付することで、大会への参加を奨励してきた。									翌年度の 方向性
		文化活動団体の主軸である那須町文化協会に対して補助金を支出し、各文化芸術分野の活動を支援してきた。文化協会の課題として会員の高齢化により会員数が減少しているため、活動が低調となっていることから、組織の活性化に向けた対策が必要である。									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-03-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
文化財保護費		前年度	3,923,000	807,000	0	0	4,730,000	4,690,433	39,567	99.16
		当該年度	3,671,000	570,000	0	0	4,241,000	3,711,502	529,498	87.51
事業概要		文化財保護審議会の運営、町文化財の指定等、文化財保護・伝統芸能保存活動への支援								
評価・改善点等		文化財保護審議会を開催し、文化財保護法及び町文化財保護条例に基づく許認可等への諮問に応じた。 国指定重要文化財である三森家住宅等の維持管理に要する費用の一部を補助し、文化財保護等への支援をしてきたが、今後、個人所有での管理が困難な状況が生じてくるため、町がどのように関わっていくか検討していく必要がある。 無形民俗芸能の伝承及び普及等に寄与する団体(7団体)の育成・保存活動に要する費用の一部を補助し、伝統芸能の保存活動への支援をしてきたが、令和5年度にも1団体休会となる等、少子高齢化の影響による後継者不足により団体の存続が困難な状況が生じてきている。今後は、引き続き活動費の補助を行うとともに、町としても無形民俗文化財の存在の発信を強化する等、支援を行っていく必要がある。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-03-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
歴史探訪館管理運営費		前年度	5,796,000	491,000	457,000	0	6,744,000	6,148,812	595,188	91.17
		当該年度	11,298,000	0	474,000	0	11,772,000	10,969,842	802,158	93.19
事業概要		探訪館の維持管理、歴史資料の収集・展示・収蔵、郷土の歴史・文化等の調査研究								
評価・改善点等		町の歴史や文化等をテーマに企画展等を年4回開催し、町の魅力ある歴史等を多くの方に知っていただく機会を提供することで、来館者数の増加にも貢献できた。 一方、平成12年の開館から23年が経過し、設備等(屋根材の剥離等)の老朽化が進んでいるため、計画的に改修を進めていく必要がある。また、今後、歴史的資料が寄贈等により増加していくことから、貴重な資料の保管(収蔵)場所を検討していく必要がある。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-04-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
図書館管理運営費		前年度	46,591,000	2,880,000	0	0	49,471,000	48,592,304	878,696	98.22
		当該年度	50,366,000	505,000	209,000	0	51,080,000	50,601,750	478,250	99.06
事業概要		町立図書館運営管理委託(指定管理)及び施設修繕								
評価・改善点等		H21年度から指定管理者による管理を行っており、コロナ禍以前の数値まで戻っていないが、前年度より入館者、貸出人数及び主事業実施回数など微増しているものもある。施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増えているが、寄附金により修繕や蔵書整備が出来ている。しかし、施設の老朽化もあるので、長期的な施設の改修及び施設の在り方については、今後の検討課題である。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-05-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
文化センター管理運営費		前年度	44,713,000	1,457,000	0	0	46,170,000	44,786,753	1,383,247	97.00
		当該年度	49,101,000	▲ 1,901,000	0	0	47,200,000	46,002,029	1,197,971	97.46
事業概要		文化センターの維持管理、貸館								
評価・改善点等		コロナ禍で減っていた利用も少しずつ戻りつつある。 平成5年の開館から31年が経過し、設備等の老朽化が進んでいる。 安全で快適な施設利用を提供するため、今後も計画的に改修を進めていく必要がある。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-04-05-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
文化センター事業費		前年度	1,567,000	0	0	0	1,567,000	1,446,809	120,191	92.33
		当該年度	1,076,000	▲ 132,000	0	0	944,000	790,124	153,876	83.70
事業概要		文化芸術を鑑賞する機会の充実								
評価・改善点等		那須町に文化芸術を根付かせるため小中学生を中心に鑑賞事業を実施している。 中学生鑑賞事業では那須町ゆかりの九尾の狐伝説にまつわる物語を学ぶ機会となり、小学生は体全体でジャズを楽しむ姿が見られるなど、歴史文化や文化芸術の振興の一助となった。事業実施後のアンケートではそれぞれ回答いただいた方の9割以上の方が満足したと回答。なお、一般にも観覧を呼びかけたので、大人の参加もあった。今後もより満足度の高い事業を展開していき、文化芸術の振興を図っていく。								
		翌年度 の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-05-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
保健体育推進費	前年度	10,073,000	0	0	0	10,073,000	8,571,864	1,501,136	85.10
	当該年度	14,545,000	960,000	0	0	15,505,000	13,854,261	1,650,739	89.35
事業概要	スポーツ・レクリエーション活動の推進、スポーツ関係団体への支援、生涯スポーツの指導体制の充実								
評価・改善点等	4年ぶりの開催となった町マラソン大会をはじめ駅伝大会、各種ゴルフ大会、レクリエーション大会、ニュースポーツの出前講座等の実施により、スポーツに触れる場を提供し、町民1人1スポーツの推進を行うことができた。 スポーツ関係団体への支援については、町スポーツ協会各専門部へ運営費を補助することで、継続的な活動支援を行うことができたが、会員数の減少により休部となっている専門部もある。学校部活動地域移行を推進する上でもスポーツ協会との連携強化が必要なことから、今後も継続的な支援が必要である。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-05-02-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
スポーツセンター管理運営費	前年度	12,933,000	1,430,000	0	0	14,363,000	13,967,257	395,743	97.24
	当該年度	14,435,000	542,000	70,000	0	15,047,000	14,178,104	867,300	94.23
事業概要	スポーツセンターの管理、施設貸出								
評価・改善点等	昭和63年に整備後30年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいる。施設及び設備等の修繕を行い、長寿命化を推進する必要がある。また、アリーナを主とする照明LED化や利用頻度の高いトレーニング器具の更新などを行う必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	生涯学習課	款項目事業	10-05-02-02	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
スポーツ施設管理費	前年度	4,237,000	1,758,000	40,000	0	6,035,000	5,229,576	805,424	86.65
	当該年度	4,068,000	140,000	28,000	0	4,236,000	3,927,255	308,745	92.71
事業概要	スポーツ施設(テニスコート、那須中学校等ナイター、旧小学校体育館、校庭)の管理、施設貸出								
評価・改善点等	テニスコートについては、昭和55年整備後40年以上が経過し、老朽化による整備が必要な状況であり、施設改修や再整備、広域連携などを検討する必要がある。また、旧小学校の体育館については、災害時の避難所に指定されているが、屋根材の老朽化による雨漏りが確認できる施設があり、改修をする必要がある。								翌年度の 方向性
									維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-01-06-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
ゆめプラザ・那須管理費		前年度	21,859,000	0	313,000	0	22,172,000	21,601,665	570,335	97.43
		当該年度	26,124,000	▲ 1,323,000	636,000	0	25,437,000	22,762,236	2,674,764	89.48
事業概要		ゆめプラザ・那須の運営及び維持管理								
評価・改善点等		施設の運営管理を行うとともに、不具合箇所の修繕工事等を行うことで通常利用に問題なく運営できている。施設の経年劣化が進んでおり、照明のLED化を要することや空調設備が耐用年数を過ぎ修繕料も増加しているため、次年度以降改修工事を検討していく必要がある。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
児童福祉総務費		前年度	20,921,000	5,118,000	34,000	0	26,073,000	25,596,019	476,981	98.17
		当該年度	25,338,000	9,750,000	2,940,000	0	38,028,000	34,596,585	3,431,415	90.98
事業概要		乳幼児おむつ等購入助成券交付、子どもの貧困対策推進、子ども・子育て会議								
評価・改善点等		乳幼児おむつ等購入助成券は好評であり、令和5年度は交付率も高く一定の効果がみられる。 子どもの貧困対策の衛生用品交付事業も好評であるが、特定の利用者への交付が見受けられ、啓発の工夫が必要と考える。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-01-02		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
子育て支援センター費		前年度	1,072,000	0	0	0	1,072,000	704,357	367,643	65.70
		当該年度	859,000	497,000	0	0	1,356,000	1,238,009	117,991	91.30
事業概要		子育てサロン事業・家庭相談事業・児童発達相談事業・ファミリーサポートセンター事業・要保護児童対策地域協議会の運営								
評価・改善点等		サロン事業等を通じて、乳幼児と保護者の交流の場を提供するとともに、育児や困り事等の相談も受け付けている。また、児童虐待を含む要保護児童等に関しては、相談業務のほか、協議会を中心として関係機関との連携を図り、迅速な対応に努めている。 子育てに関する各種支援へのニーズが高まり、ショートステイの委託先の確保やファミリーサポートの提供会員の確保・増加が課題となっている。ファミリーサポート事業に関しては、利用促進を図るため、利用料金の減額や提供会員への助成制度の創設を行った。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-01-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
子ども子育てのための教育 保育等給付費		前年度	339,817,000	▲ 69,200,000	0	0	270,617,000	270,616,048	952	100.00
		当該年度	307,817,000	▲ 177,832,000	▲ 3,225,000	0	126,760,000	118,388,258	8,371,742	93.40
事業概要		保育園・幼稚園・認定こども園への施設型給付費の給付、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用料の給付								
評価・改善点等		児童数の減により、給付額も減少しているが、運営費に係る給付事業であり、各施設の運営のために必要な経費であることから、継続して実施していく。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-01-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
子どもの遊び場運営費		前年度	770,000	0	0	0	770,000	437,990	332,010	56.88
		当該年度	557,000	0	0	0	557,000	385,628	171,372	69.23
事業概要		子育て世帯が自由に遊べる全天候型の遊び場である「わんぱくキッズランド」の管理運営								
評価・改善点等		利用者は増加傾向で雨天時が多い。発達支援児のための空間や遊具の利用も徐々に増え浸透してきた。施設利用にあたり事前に電話予約が必要だが、利用者の利便性を図るための予約の工夫が必要である。								
		翌年度の 方向性								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-02-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
保育園管理費		前年度	261,083,000	▲ 3,483,000	1,923,000	0	259,523,000	239,462,063	20,060,937	92.27
		当該年度	274,111,000	▲ 4,705,000	477,000	0	269,883,000	227,979,769	41,903,231	84.47
事業概要		公立4保育園の管理運営、町内外の私立保育所に対する運営費の支給								
評価・改善点等		様々な保育ニーズに対応するため、延長保育や土曜保育等を行なっているが、病児保育や一時預かり保育は実施できていない。病児保育の実施や一時預かり保育の代わりにこども誰でも通園制度の準備を進める。また、様々なサービスを提供していく上で、保育人材の確保が課題となっている。保育児童数の減により、私立保育所への委託料も減少しているが、各施設の運営のために必要な経費であることから、継続して実施していく。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-02-04		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
保育園給食費		前年度	36,619,000	550,000	0	0	37,169,000	37,057,959	111,041	99.70
		当該年度	36,368,000	47,000	351,000	0	36,766,000	36,735,907	30,093	99.92
事業概要		3保育園(黒田原第1・第2・伊王野)の給食調理業務委託、給食調理従事者の細菌検査・給食室の衛生管理、環境改善								
評価・改善点等		給食調理業務委託や衛生管理に関する検査・管理を行うことにより安定した給食を提供することができた。また、令和4年度より完全給食を実施し、保護者の負担軽減を図っている。課題として、病児食の提供や食物アレルギーを持っている児童の対応が多様化しており食材の代替や別献立の作成、食事の際の見守りなど徹底した管理が必要となり支援児以外の保育士の加配が必要となっているケースも発生している。また、直営調理の園についても、調理員の退職に伴い、今後、委託に向けての準備が必要となるが、人材不足のため委託先の確保が困難と思われる。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-04-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
放課後児童健全育成費		前年度	46,056,000	3,618,000	197,000	0	49,871,000	47,393,453	2,477,547	95.03
		当該年度	76,177,000	14,713,000	92,000	0	90,982,000	89,241,286	1,740,714	98.09
事業概要		放課後児童クラブの運営、民営放課後児童クラブの運営費支援								
評価・改善点等		放課後児童クラブ全体の利用希望者も増加している中で、国の交付金交付基準額も増額傾向にあるが、そのような状況でも、利用条件を満たした希望者すべてを受け入れられている。全国的な例に漏れず、那須町においても支援が必要な児童が年々増えており、それらの児童を受け入れる体制を今後も整備していく必要がある。また、公設民営クラブ(7クラブ)については保護者会から民間事業者へ運営を切替えているクラブもあり、今後も保護者の負担減に向けて調整を進めていく。								
		翌年度の 方向性 拡充								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	04-01-02-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
母子保健費		前年度	13,639,000	1,540,000	0	0	15,179,000	12,103,678	3,075,322	79.74
		当該年度	11,334,000	▲ 1,400,000	0	0	9,934,000	8,420,182	1,513,818	84.76
事業概要		不妊治療費助成、妊産婦及び乳幼児の健康診査、母子手帳交付、産後ケア事業、健康・発達相談及び指導(訪問、面接等)、健康教育								
評価・改善点等		妊産婦、乳幼児健診の受診率は9割を超えている。未受診者に対しても状況把握をし、健全な成長、発達への支援を実施した。 妊娠、出産、育児にわたり育児協力者や相談者が少ない妊産婦等に産後ケア事業では心身を休め、母乳ケア等を受ける場を提供した。 また、困難ケースには保健師や社会福祉士、心理職、家庭相談員などの専門職と連携し支援を実施している。今後も多様化する育児に切れ目のない、きめ細かい支援を実施する。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	04-01-02-06		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
出産・子育て応援費		前年度	0	9,500,000	0	0	9,500,000	8,270,807	1,229,193	87.06
		当該年度	8,759,000	▲ 2,700,000	0	0	6,059,000	5,607,256	451,744	92.54
事業概要		伴走型相談支援(保健師による子育てサポート)、経済的支援(出産応援給付金として妊娠届出時に妊婦一人あたり5万円、出生時子ども一人あたり5万円給付)								
評価・改善点等		母子手帳交付時と赤ちゃん訪問時に妊婦や産婦とその家族に対して、面接相談等を実施し子育てのサポートをや給付金を給付することができた。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	10-01-04-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
幼稚園振興費		前年度	4,037,000	430,000	0	0	4,467,000	4,396,126	70,874	98.41
		当該年度	4,356,000	0	0	0	4,356,000	3,452,890	903,110	79.27
事業概要		一時預かり委託事業、幼稚園健康診断費補助事業、子育てランド補助事業								
評価・改善点等		一時預かり委託事業については、突発的な事情で保護者が育児ができない場合に安心して預けられる場所としての成果が得られている。保育園での一時利用希望者の受け皿にもなっており、当面の事業継続が必要である。また、子育てランド補助事業については、地域子育て支援の観点から、子育て家庭の親子どうしの交流場所として必要な場所となっている。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-02-05		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
黒田原第1保育園費		前年度	15,743,000	0	34,000	0	15,777,000	13,420,431	2,356,569	85.06
		当該年度	15,345,000	777,000	235,000	0	16,357,000	15,340,269	1,016,731	93.78
事業概要		黒田原第1保育園の管理運営								
評価・改善点等		入所児童120名の保育を行い、他の園に比べ延長保育(早遅番)や土曜日保育の利用者が多く配慮が必要な児童の利用が多い中でも、保育士の配置やシフト管理を工夫し保育環境の改善に努めた。また、必要となった施設修繕を行った。駐車場スペースが狭いことが課題となっている。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-02-06		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
黒田原第2保育園費		前年度	8,843,000	0	0	0	8,843,000	6,855,430	1,987,570	77.52
		当該年度	8,372,000	313,000	66,000	0	8,751,000	7,951,805	799,195	90.87
事業概要		黒田原第2保育園の管理運営								
評価・改善点等		入所児童61名の保育を行うとともに、施設修繕により保育環境の改善を図り安全対策を講じた。土曜日保育児童の減少により黒田原第1保育園での集中保育を2月より実施した。令和9年度から黒田原第1保育園と統合するための準備が必要となる。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-02-07		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
千振保育園費		前年度	6,432,000	0	0	0	6,432,000	5,251,916	1,180,084	81.65
		当該年度	6,058,000	391,000	274,000	0	6,723,000	6,172,364	550,636	91.81
事業概要		千振保育園の管理運営								
評価・改善点等		入所児童35名と少人数の保育園だが、自然環境の良さと小規模が保護者には好まれている。千振保育園については存続させる方向性となったが、施設の老朽化により修繕費が増加している傾向にあり施設管理の面で今後課題となる。また、存続して運営していくための保育園のあり方も検討していく必要がある。								翌年度の 方向性
										維持

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	こども未来課	款項目事業	03-02-02-08		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
伊王野保育園費		前年度	9,920,000	0	0	0	9,920,000	8,238,005	1,681,995	83.04
		当該年度	9,350,000	436,000	67,000	0	9,853,000	9,077,154	775,846	92.13
事業概要		伊王野保育園の管理運営								
評価・改善点等		入所児童70名の保育を行うとともに、4園の中で一番アレルギー児が多いが除去食の代用や職員を増員しおやつ・給食時は他の園児と隔離するなど工夫し保育環境の改善が必要である。								
		翌年度の 方向性 維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	議会事務局	款項目事業	01-01-01-01		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
議員報酬		前年度	65,733,000	194,000	0	0	65,927,000	65,845,690	81,310	99.88
		当該年度	65,868,000	0	0	0	65,868,000	65,686,548	181,452	99.72
事業概要		町議会議員報酬支払								
評価・改善点等		若い世代を含めた議員の成り手不足や地方自治制度上の役割と活動に見合った議員報酬の支給等が課題とされているため、議員活動の周知を更に進めるとともに報酬増額についても検討する。								
		維持								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	議会事務局	款項目事業	01-01-01-03		単位	円、%
事業名		年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	不用額	執行率
議会事務局費		前年度	11,631,000	▲ 700,000	55,000	0	10,986,000	9,248,835	1,737,165	84.19
		当該年度	10,782,000	▲ 900,000	9,000	0	9,891,000	8,676,461	1,214,539	87.72
事業概要		本会議及び委員会の運営、会議録作成、議員研修、行政視察、所管事務調査、議会だより発行								
評価・改善点等		所管事務調査、行政視察及び議会報告会を実施し、政策提言及び予算要望等を行った。友好都市との議員間交流を年1回1市町と実施し、住民の交流事業等の実施に向け検討する。議会報告会の参加者の確保が課題であるため、先進事例を調査研究し参加者の増加対策に努める。なお、近隣では参考になる自治体も限られているため、遠方への視察も可能とする予算を確保する。								
		翌年度の 方向性								
		拡充								

年度	令和5年度	会計	一般会計	所属課	監査委員事務局	款項目事業	02-07-01-01	単位	円、%
事業名	年度	当初予算額	補正予算額	流用充用額	繰越額	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
監査委員事務局費	前年度	821,000	0	0	0	821,000	754,905	66,095	91.95
	当該年度	810,000	0	0	0	810,000	778,817	31,183	96.15
事業概要	地方自治法に基づく監査等の実施								
評価・改善点等	監査計画による監査等はすべて実施することができた。より効果的、効率的な事務の執行のため、監査委員や事務局職員の専門的知識が必要とされる。そのため研修会に参加し知識の向上に努める。								翌年度の 方向性
									維持